

V 自由意見

V 自由意見

問9 あなたが「ごみの減量化とリサイクル推進」について思っていることなどを、自由に記入してください。

-
- 有料化しても未納者や不法投棄がふえるだけ。 (男性 20代)
 - リサイクル推進について、回収したものは何パーセントリサイクルされているかデータを公表し、リサイクルが本当に機能していることをPRするとよい。リサイクルはコスト的にトントンなのか黒字化しているのか。こういうデータは公表されていないのでは。 (男性 20代)
 - その他の紙については、スーパーの敷地内に市の回収ボックスを置かせてもらい、そこで回収してみてもどうか。現状の月1回の回収でいっぺんに捨てるよりも週に何度も行くスーパーで少量ずつ捨てたほうが家庭内にごみがたまらずいい。もちろん月1回の回収はそのままで。富士市で紙リサイクル全国1位を目指す呼びかけをしてみてもどうか。市の方針として打ち出し、市民の意識が高くなればいい。よい意味で全国1位は誇らしい。特にその他の紙が燃えるごみにまざる割合を減らせば、ごみの量自体を減らせるのではないか。 (男性 20代)
 - この調査を見るまで、「ダンボールコンポスト」「EMぼかし」「きみもごみ減らし隊」などの存在をまったく知らなかった。テレビなどを利用して、市の活動をもっと広く市民に伝えるべきと思う。古紙回収ボックスは非常に役に立っているように感じる。市による古紙回収量をふやすためには、古紙回収業者と提携するのが最も楽で確実と思う。 (男性 20代)
 - 昔に比べて会社や学校などで分別やリサイクルに触れる機会がふえており、家庭レベルでの推進も決して不可能ではないと思う。各人が会社、学校での経験を各々の生活に落とし込む意識が今後は重要になると思います。 (男性 20代)
 - 買い物をしたすべての品物に対して、包装をしたり、ビニール袋に入れたりしている現状を考えると、ごみの減量化は難しいと思われる。スーパーの買い物袋(マイバック運動)以外に衣服、雑貨などを入れる専用のマイバッグを制作し、推奨したほうがより効果的に思われる。 (男性 20代)
 - ごみを細かく分別しすぎて、逆にごみの量や種類が増加していると思う。一部の地域ではここまで細かく分別しておらず、引っ越してくる人たちから、分別が細かすぎて本当に大変ということを耳にした。 (男性 20代)
 - 環境クリーンセンターの受入れ時間をもっと長くする。環境クリーンセンターへ直接ごみを持って行っているのに断るときがある。受け入れる体制にするべき。職員で態度が悪い人がいるので教育すべき。 (男性 20代)
 - 限られた資源を有効活用し、地球温暖化を食い止めるためにも、富士市で細かく分けているごみの分別には賛成です。他の市では、ひとまとめにしてしまうようなごみも富士市では分別しており、こういった活動を他市にも広めるべきと思います。ごみの有料化については、やはり不法投棄がふえるので反対です。また、使えるものは直して使うなど、CMやラジオ、地域全体でのPRにより、ごみ減量に対する市民の意識を高めるべきと思います。 (男性 20代)
 - 何を買っても包装紙など、時には過剰なものがついてきます。商品を売るには、見た目の美しさや持ち運びが安全にできるように考えなくてはならないことは理解できますが、不要なものは省き、簡素化を心がけることが必要だと思います。消費者側も、見た目の美しさを第一に考えずに品物を選ぶことも必要だと思います。 (男性 20代)

V 自由意見

- 有料でも無料でも、結局は一長一短あるので、なかなか難しい問題と思う。本当に一人一人が意識して生きていかないとにも変わらないと思う。(男性 20代)
- ごみが減ることは、環境によいし、市の経済も助かることに繋がると思います。しかし、生活していく上で、ごみが出ることは必然的なことです。リサイクルはごみを減らす改善策の一つだと思います。ですから、リサイクルできる物のごみ箱(収集箇所)をもっとふやすべきではないでしょうか。(男性 20代)
- ごみ処理費がかかるからここまで分別をさせようとするのか。これをやる意図がよくわかりません。やるなら明確な目的を書いて下さい。税金の無駄とされます。フジスマートプラン 21 はほとんどの人が見てませんし、見ようとしなないと思います。(男性 20代)
- 問5で書いたが性善説には限界がある。性善説を前提とした制度では、やった人が損をする仕組みなのでみんなやらなくなる。単純計算でいいので、年間一人あたりのごみ排出量とその処理費用を出して公表したりすれば減るかもしれない。メリットがない限り減らす努力はあまりしないと思う。(男性 20代)
- プラスチックの分別をプラマークの有無で行っているのが納得がいかない。だいたいPE(ポリエチレン)、PP(ポリプロピレン)、PS(ポリスチレン)でできているのだから回収するなら全部すればよい。プラマークの有無で文句を言われるようなものではない。(男性 20代)
- 4ページにあった古紙収集の現状に関して。車を利用しない人のために、バス停近くやバイク・自転車置き場の近く、あるいは同じ場所に集積所(小型のボックスなど)があれば、日常的にそこを利用する人がこまめに古紙を出すことができ便利と思う。車を利用しない人は、一度に大量の古紙を出すことは考えにくい。(男性 20代)
- 余分なものは買わない。きちんとごみの分別をすることが大事と思う。(男性 20代)
- 分別の徹底(横浜市のG30など)と、リサイクル可能なごみの市民への周知を地道に行うべきと思います。(男性 20代)
- 回収する場所をもう少しふやしたほうがいいと思う。(男性 20代)
- ごみの減量とリサイクルを推進させるための市民の意識を高める活動が不足しているのではないかと思う。また、焼却して発電するペットボトルや缶などをリサイクル、売却するなどして収入を得ることを考え、有料化までの資金とすべきと思う。(男性 30代)
- リサイクルにかかる費用、エネルギーとリサイクルで得られる再資源のつりあいが取れていないように感じる。エコ、リサイクルを大義名分として思考停止せずにもっと検討すべき。(男性 30代)
- ごみの減量化を推進することは大いに結構なことだが、有料化には反対である。ごみ処理を有料化したら、何のために税金を払っているのかわからない。無駄な出費をやめれば有料化しなくても減量化推進は可能なはず。(男性 30代)
- 環境保全や資源の節約という観点から重要なことではあるが、面倒くさいといった理由で協力しない人も多いと思う。実際ごみの分別が厳しくなってからコンビニエンスストアにごみを捨てている人を見かけたことがある。古紙回収車のように手軽に利用でき、かつ何かと交換できるなど、何かしらのメリットを付与するなどの対策が必要と思う。(男性 30代)
- 私の家では、着なくなった服は「市民ふれあいバンク」に持って行き、またそこで着られるものを買ってきている。自分も助かるけど、ふれあいバンクで働いている人たちも喜ぶ。スーパーでトレイに入っている肉や魚が多いが、売るときに個人商店のように紙や袋で包めば、ごみは減ると思う。(男性 30代)

- 生ごみ処理機などに補助金を出す。 (男性 30代)
- 市の活動内容は、知らない市民が多いと思うのでまずはPR活動をしていくべき。ごみ(古紙)の回収場所も知らなかった。場所と日時がわかればもっと活用していくはず。なんでも有料化に考えを持っていくのではなく、富士市にも大型スーパーやショッピングモールもできているので、そこでイベントをやりながらPRをしたらどうだろうか。PRは何回も行う必要がある。 (男性 30代)
- 生ごみ処理機の助成金をふやして普及させる。年間の処理費と補助金。将来的に考えても、ごみを減量させることが大事。地域で生ごみを堆肥化する。大型の装置が置いてあると便利。ガーデニングをしない人も、家庭用の生ごみを処理した堆肥を集めるところがあるとよいと思う。 (男性 30代)
- アプリの定着化は、収集日を知る上でとても便利。ただし、アピールが全然ないため、その存在を知っている人はごくわずかでは。せつかくあるものをPRしないで何とする。アプリも有料ではないか。費用対効果を確実にあげる努力をすべき。 (男性 30代)
- 私自身、ごみの分別は意識しているつもりだが、実際問題として厳密に守れているかと言えば、できていないのが現状である。 (男性 30代)
- 市行政と市議会により、ペーパーアンケートでなく、直接生の声を聞き、一問一答を多くおこなって、市民全体での「環境宣言」をEA21のような取り組みを行うべきである。市当局も市民も「ノンビリ」しすぎているのでは。富士宮焼きそば、三保の世界遺産への追い込みなど、努力が足りない。「もっと一つずつ取り組み方」を勉強すべきである。教訓「成せば成る、成さねばならぬ何事も。成さぬは人の成さぬなり。」まずやりなさい。横ばかり見たアンケートでなく、当局は行動の先頭に立つべき。 (男性 30代)
- ごみの減量化には個々の意識をあげる必要があり、そのためには有料化も一つの手段と思う。リサイクル資源は有料化すると、一般の業者に持ち込む人がふえるのでは。 (男性 30代)
- ごみの減量化は地球のためにも大切と思うが、有料化などお金のかかることをすると、この世の中なのでいろいろと問題が起こると思う。富士山が世界遺産になっても、ごみの問題で取り消しになってしまったら残念すぎるし、イメージも悪くなっていく。 (男性 30代)
- ペットボトル・紙・びんなど週1回決めた日に回収するよりも、ごみ置き場にいつでも捨てられるBOXを常時設置したほうが良いと思います。決まった日に捨てるとなると、自宅にごみをためておきたくない人は、燃えるごみとして出してしまうと思います。自分が出したいときに出せる環境をつくれれば、よりごみをリサイクルできるのではないのでしょうか。燃えるごみの集積所にぜひ、トレイ・紙・ペットボトル・びん・缶をいつでも出せるコンテナを設置してほしい(スーパーなどでよく置いてあるもの)。 (男性 30代)
- リサイクルするぐらいなら容器のリユースをしたほうが良い。ペットボトルのリサイクルを禁止すべき。びんも同じ。最も効率的な方法を提案した上で、妥協点を探れば良い。 (男性 30代)

V 自由意見

- リサイクルについては、今ではごみ分別にて、どの家庭や会社でも当たり前のように行われていると思います。しかし、100%ではないと思います。分別するにしてもその人の見方によって違いがあると思います。だからといって、やらないということではなく、これからも分別をしてリサイクルできるものはしたいと思います。ごみ減量化については、物があふれている今の世の中で、一方的に消費者側に減量を求めるのはおかしい。確かに、物を購入して消費するが、販売する側にも責任はあると思います。それでもやはり、ごみを出してしまう消費者側のスピードのほうが早いと思います。市民一人一人がもう少し、ごみ減量について考え、リサイクルしていけば、ごみは減ると思います。そして、提供する側も、ごみになるものではなく、再資源となるような梱包をもっと進めていってほしいと思います。少人数の力ではどうにもならないと思います。市民全体で動いていかなければいけない問題だと思います。(男性 30代)
- 食品などは、なるべくはかり売りにすればいいと思う。(男性 30代)
- 事業者と消費者の双方向の立場から、ごみ減量のためにしなければならないことを提案したほうがよいと思う。(男性 30代)
- 家庭菜園のため、生ごみ処理機を使用していますが、かなり減量化します。堆肥としても非常によいものですので、もっと推進したほうがよいと思います。(男性 30代)
- ごみの減量化とリサイクルを推進することによって、税金がどれだけ減るのかを数字化してもらえると自分たちの意識が少しは変わるのではないかと思います。また、ごみ処理にかかっている税金を削減した分、地域商品券や医療費無料などに還元すればいいと思います。(男性 30代)
- 家の中にゴミをためたくないの（特にペットボトルがかさばって困る）、資源ごみの回収ボックスを設置する。ペットボトルがいっぱいになると、つい燃えるごみの中に捨ててしまう。家具など、市が無料で引き取ってどこかに売ればいい。(男性 30代)
- 富士市以外でもそうだと思うが焼却灰を捨てる場所が減少している。そのための場所確保のためにはごみ有料化も多少は仕方ないと思う。ごみ処理を有料化するのであれば、パッカー車人員は3人から2人にすべきと思う。ごみ分別が少し細かすぎるから、プライバシーのないものはシルバー人材などを使い分別してもらおう（人生の先輩なのであまりひどいことはさせない程度に）。(男性 30代)
- ごみ処理の現状について知るとともに、ごみの減量化について市民一人一人が意識しなければ、ごみ問題について大きな変化は起こらない。社会についても大量生産、大量消費の体系を循環型の社会に切りかえていかなければ大量廃棄は改善していかない。(男性 30代)
- ごみの分別を心がける。ごみ処理機などを配布または補助金といったものを使って、市民が利用しやすくする。(男性 30代)
- リサイクルやごみを少しでも減らすことはとてもよいことだが、問8の6（学校でのごみ減量についての学習機会を充実させ、親子でごみ減量に取り組む）にもあるように大人だけではなく、子どもも参加してわかりやすく「どうしたらごみは減らせるのか」など学校側と一緒に教える機会を与えたいと思います。幼いころから学べば、大人になってもそういったことを忘れず、未来の環境に対しての意識が高まると思います。(男性 30代)

- ごみとは個人の消費によって生み出される副産物であると思う。ごみが多いということは経済が活発なわけで、それを減らすことが経済にとってよいことなのだろうか。包装紙をつくるメーカー、ダンボールをつくるメーカー、容器をつくるメーカー、それらを運ぶ業者など多岐に影響が出るように思う。企業が利益を上げるから税収が上がるのであって、それを抑えようとする政策はするべきではない。多少無駄くらいがちょうどよい気がする。それならごみの減量化などは考えずに、リサイクルに特化した政策を考えるべき。
(男性 30代)
- ごみの分別によってどのような成果が出ているのか、どのようにリサイクルされ再生されているのか、もっと明確になっていけば、さらにリサイクルへの意識が高くなると思う。
(男性 30代)
- ダンボールコンポストの説明会などに参加したいが、平日しか実施しないため参加できないので、土・日曜日でも実施してもらいたい。
(男性 30代)
- 子どものころからの教え（しつけなど）による生活習慣化、常にPRすることによる意識低下の抑制。
(男性 30代)
- 近所に高齢者がとても多く、資源ごみの集積所が遠い家はとても大変そう。しかも、月に一度の量を持って行くのも、足の悪い人にはつらそう。私の家もそうだが、子どもが小さい家で、仕事が夜勤のある家などは、資源ごみの場所が遠いととても大変（子どもを2人連れて、たくさん量のゴミ袋を持って行くのは大変…雨だとなおさら…）。以前、生ごみ処理機を使っていて、とても便利だったのでまた利用したい。
(男性 30代)
- 富士市でごみが問題になっていること自体を全く知らなかった。
(男性 30代)
- ごみの減量化については、一大家族が意識をして行うべきと考えます。リサイクル推進については、市がフリーマーケットを積極的に行っていくべきと考えます。
(男性 30代)
- アンケートを見た限り、ごみ処理を有料化したいだけの感じがすごくする。ただでさえお金のかかる社会になってきているのに、これ以上まだ税金をとるなら引越などを考えてしまうと思う。周辺の市民から「富士市はいいな」と思われるようなまちづくりをしてほしい。
(男性 30代)
- ごみの減量化には企業努力も必要で、さらには消費者側の理解と協力など、社会全体で取り組まない限りよい方向には進まないと思います。自治会などでの取り組みを期待されることもありますが、夫婦共働きなど自治会への活動協力が困難な人も多く、それが「〇〇さんにまかせておけばよい」という人任せの考えにつながるとも思います。誰かに任せるのではなく、一人一人が責任と義務を持って、減量化やリサイクルに取り組まなくてはならないと思います。
(男性 30代)
- 田子浦の海岸に、ペットボトルがたくさん打ち上げられています。環境美化のためにもボランティア活動などで清掃し、リサイクルへまわすべきと考えます。もしすでにそうした活動がなされているのであれば、活動内容をPRしてほしいと思います。
(男性 40代)
- 山ほどのごみ（切り枝など）はごみ集積場所に出さず、ごみ処理場に出してほしい。
(男性 40代)
- ごみの分別を徹底することにより、もっとごみの減量化は可能と思う。ごみの分別が面倒なので、中身の見えないスーパーの黒や銀色の袋などにプラスチックやペットボトルやその他のごみを入れて隠し、ごみ集積所にいる人たちが何も言えないようにしている知人が大勢います。缶やびんはさすがに入れていませんが。東京の世田谷の一部の地区では、ごみの中身をチェックする人がいるという話も聞きました。そこまでするのはプライバシーの問題があると思いますが、それくらいのことをしなければ、いつまでもごみの分別が徹底されないのかもしれないかもしれません。ペットボトル10本で1円とか、プラスチックごみ一袋5円とか、お金やポイント制をとるのはどうですか。
(男性 40代)

- 問4 (市による地域の集積場所での古紙回収量をふやすための方法を問うもの)に関して、市民側から見た場合以下の論点が気になります。1.減ってしまった地域の集積所の回収量をふやさないと、(富士市の)現在の古紙回収に関する行政サービスを今後維持できないのか。2.仮に上記1がYESの場合、行政サービスを維持するためには何を行う必要があるのか。今回の世論調査に記述されている文章からは、上記1の論点はYESで、2の論点として「回収量の増加(回復)」を選択しているように見えます。ただ、今回の記述は論理的に破綻しています。

 - ・有価物として市場の需給によって回収が行われその割合が高まっていることは、悪いことではない。市場の需給で回収される場合雇用を生み税金をふやすが、市からの委託業者が回収したら税金を使用することになる。リサイクルがらみは悪徳な企業も多いだろうが、それは別の論点。
 - ・『「古紙回収ボックス」は車で横づけでき、いつでも出せて便利ですが、車を利用しない人にとっては自宅から遠いなど利用しづらい面もあります。』という記載は、車を所有していない人にとって不公平が生じているように感じさせる記述になっている。富士市のサービスの質が低下しているわけではなく、「車を利用しない人」に不都合は生じているわけではない。不公平かどうかは議論の対象ではなく、論点がずれている(論点をずらしている)。

また、問4の選択肢は理解に苦しみます。以下2点が疑問です。

 - ・市民からすると古紙回収の利便性は増加している(少なくとも低下していない)のに、1～4の選択肢はいずれも税金を投入する内容である。
 - ・「古紙回収ボックス」と「集積所における古紙回収(行政サービス)」は、市民にとっての利便性が異なる。「古紙回収ボックス」は出したいときにさせるのがメリットであり、これは「集積所における古紙回収」では現実困難。

問4の記述に関しては、施策の立案者(の能力)に問題があるのか、本当のことを記述していないか、どちらかに見えてしまいます。どちらであるとしても、内容(表現)を変更したほうがよいと思います。(男性 40代)
- 個人のマナー向上。(男性 40代)
- 現状は、リサイクルにかかるコストのほうがごみとして燃やしてしまうコストよりも大きいのに、リサイクルを推進しなければならない理由を明確にアナウンスしてほしい。(男性 40代)
- 私の地区では資源ごみの集積所が交通量の多い道路に面しており、ごみを出すときに何度もヒヤッとしたことがありました。高齢の人も同じ経験をした人もいます。せめて週1回のプラスチック製容器包装の日だけでもふやしてほしい。プラスチック類の収集量が年々少なくなっていると聞いています。集積所の見直しや増設などを考え、回収率アップの一つの要因になることを願っております。また、まちづくりセンターで行っている古着回収のアイデアは大変よいと思いますが、できれば年に1・2回程度でいいので移動回収車を使い、もう少し集積所をふやしてもらおうと助かります。市の職員も日ごろから私たちのために大変な思いをしていると思いますが、これからも変わらずに頑張してほしい。(男性 40代)
- 無理をしないことが大事と思う。(男性 40代)
- ごみ問題については、市町が違ふと考え方が違ふというところに大きな問題があると思う。その他の紙やプラスチック容器包装分別などが浸透しないのはそのせいと思う。「子どものころからのしつけ」と言って学校での取り組みを強化しても、家にいる大人が「その程度でいいや」という思想がある限りは変わらない。説明会をふやしてもいつも出てくるのは同じ人だし、大人の思想が変らなければ変わらない。有料化についても「お金を払えばいい」という安易な思考しか起きないと思う。減量化とリサイクルが推進されたことによってどんな恩恵があったか(単に経費が減っただけでなく、浮いたお金でこんなことができました。など)を示さないと、市民に大きな変化は起こらないと思います。(男性 40代)

- ごみが出ないシステムを市全体で取り組んでみてはどうか。システムについては検討が必要。(ごみが出るようなシステムだからごみが出る) (男性 40代)
- 道路上や歩道の植え込みに缶・ペットボトルのポイ捨てがある。拾うのが大変。自転車での行き帰り時にごみ箱に持っていかなければならない。ポイ捨てをなくすことがごみの減量化につながるのではないかと。(男性 40代)
- 個人のモラルが低いと、ごみの減量やリサイクルなど考えないと思います。(男性 40代)
- 分別についての説明をお願いします。わからない人が多いと感じます。(男性 40代)
- ごみ減量化などによるメリットが市民にはっきり伝わっていないし、現状のままだと今後どうなるのかもはっきり伝わっていない。(男性 40代)
- 以前と比べ分別されていると思うので、ごみの回収方法などを変えるとややこしくなる気がする。だったら一番よく出る食品関係のごみを減らすために、過剰梱包などスーパーの協力が必要と思う。すぐに有料化というがそのお金の使い道もわからないし、すぐにお金を集めることしか考えないのかと思ってしまう。言い方が悪いが、市民税も払っている。逆に優秀な地区などに特典があったりするとうれいかもしれない。(男性 40代)
- これを推進していかなければ、将来的に市民の暮らしの何に影響があるのか具体的に周知する(メリットも含めて)。(男性 40代)
- 問5のその他の紙について、専用の分別用紙袋を配布した場合、捨てる対象がよくわかるように表面に絵などを入れる。(男性 40代)
- ごみの減量化とリサイクル推進をもっとPRすべき。(男性 40代)
- リサイクルできるものは、できるだけリサイクルしたいです。(男性 40代)
- ごみ焼却に伴う蒸気発電の強化。ごみ焼却に伴う排ガス処理設備の強化。焼却炉の増設。排熱利用の強化。ごみ再利用方法を専門家と共同で技術開発する。(男性 40代)
- 有料化をすればごみの減量化につながると思うが、従量制の場合、不法投棄や分別無視につながると思う。(男性 40代)
- 学校での教育により、ごみの減量化とリサイクル推進が当然という認識を持たせることが必要だと思います。(男性 40代)
- 家庭で生ごみ処理機を使用したい人に、市で無料の貸し出しを行ってほしい。現状で生ごみ処理機は高すぎる。(男性 40代)
- 物を整理できない人は、ごみの分別もできないと考えています。そのことを学生のときに教えることも大事。今の会社では5Sも会社目標としてあげているくらいです。ごみ有料化に関しては、有料化による不法投棄が防止できなければ実行は疑問に思う。(男性 40代)
- その他の紙やプラスチックのごみも週1回や月1回ではなく、燃えるごみ同様、同じ集積場所で収集し、収集日もふやす。(男性 40代)

V 自由意見

- 店側の過剰包装を規制できないか。大手スーパーと提携するなど、排出時から抑制する体制をつくる。燃えるごみは1日1袋までは無料、2袋以上は1袋につき〇円という有料化を検討すべき。ルールを守らないごみ出しには厳しい罰則を設けないと、きちんと守っている人が不公平になる。ごみ集積所の監視強化（カメラの設置など）。リサイクルしたものがどのように転換しているのかわかれば、協力してもらいやすい。例えばペットボトルのキャップはポリオワクチンになるということが世の中に情報として出回っているので協力してくれる人が多い。古着はどこへもらわれたか、あるいは裁断して何になったのかなど。最終処分場が満杯近くまでなっていることをどれだけの市民が知っているのか。 (男性 40代)
- ペットボトルなどの集積所は常に出せるような状態にしたほうが分別しやすくなる。古紙ステーションを市が運営管理することで、家庭内のごみを減らせる。収集日も少ないので、違うごみの収集日に出してしまっているケースもあるのではないかと。ごみ収集所には監視カメラなどを設置してほしい。近所の収集所がひどい状況のときがある。特に埋立ごみなどのとき、収集できないものを遠方から来て、置いていく人がいる。収集所周辺の人が処理している状態です。看板だけでも設置すれば効果はあると思う。 (男性 40代)
- ある程度の大きさの物は分別しやすいが、小さな物（お菓子など）は分別が面倒くさいので一緒に捨ててしまいます。居間でチョコレートを食べ、プラスチックの包装と箱と手を拭いたティッシュを3つに分けて捨てる人がどの位の割合でいるのでしょうか。台所でも居間でも分別ごみ箱を置くなどの意識がなければ変わらないと思います。 (男性 40代)
- リサイクルできるものは確実にリサイクルをする。ごみと考えず、資源と考える。子どものときから考えさせる環境づくりが大切。 (男性 40代)
- エコバックなどは既に一般化しているが、利用者の層でいうと主婦層のみで、男性や若者層にはいまだに利用者は少ないので、エコバックの利用を改めてPRしてはどうか。あと、リサイクルの推進などで委員会などはつくらないでほしい。実質活動していないような委員会をつくり、市民の税金を使うことはしてはならない。 (男性 40代)
- 税金ですべて行うべきである。 (男性 40代)
- 富士市は業者に丸投げしすぎるのではないかと。ハローワークなどで閲覧すると、沼津市や三島市などは市として人材を募集しているが、富士市は業者が募集しているだけ。なぜか。もっと市として関与してもいいのではないかと。田や畑などで、昔から燃やしていた物をごみとして出さなければならないのも、大きな理由の一つではないかと。考え直してみてもどうか。 (男性 40代)
- 高齢者が内容を理解しているかが不明です。特に分別に対し、一つの物を分解してまでも分別が必要なことを理解してもらいたい。すでに学校では指導がされており、子どものほうが理解があるのでは。商品を守るために過剰なほどのパッケージやディスプレイが近年で増加し、「目にとまらないうと売り上げは伸びない」と思うほどである。大企業がコストをかえりみずに行う行為も大いに注目すべきところでは。 (男性 40代)
- 富士市はごみ分別が細かいのに対し、富士宮市はそうではない。まずは地域によってごみ分別を統一して、それから有料化や他の手段を取るべき。有料化にしても不法投棄が増すだけではないかと。妻が細かくごみ分別をしていて、家で私がよく怒られます。会社では、事業所ごみで、ごみ分別がされていません。主婦はそれなりにしっかり分別していても、男性は意識がそれほど高くない（私も含めて）と思います。リサイクルもそうだと思います。まずは、地域差と男女差の違いを直していかなければと思います。まずは私自身から頑張りたいと思います。 (男性 40代)
- 市民全員が一日ごみ処理、収集体験をすべき。現場を見るのが大事（例えば、すべての会社で1回/10年は義務化する）。 (男性 40代)

- プラスチック、ペットボトルなどリサイクル可能な物は、分別して収集されていますが、本当に100%リサイクルされているのか疑問です。100%リサイクルされていると発表されれば、市民の意識も変わると思います。私ごとではありますが、全部リサイクルされていないという思いがあり、プラスチック容器は洗う手間があるため、燃えるごみとして捨てることが多いです。上記のような発表があれば、私も考えを改めます。古紙収集量の減少については、時代の流れです。収集量をなぜ、ふやさなければならないのでしょうか。不景気ですから、税金は減らす方向に考えるのが普通だと思います。(男性 40代)
- どれだけPRや呼びかけをしても、何もしようとしない人はいる。無料のままでは真面目な人が損をするだけ。(男性 40代)
- ごみの減量化とリサイクル推進のためには、ごみ処理などの有料化は早期に進めていくほうがよいと思います。自宅周辺でも不法投棄が多いので、対策も進めてほしい。(男性 40代)
- リサイクル集積所が少なく遠いため、リサイクル集積日を設ける。(男性 40代)
- ペットボトルと缶は月2回にしてほしい。いつでも出せる回収ボックス(生ごみ以外)を公会堂に置いてほしい。生ごみ処理機がほしい。(男性 40代)
- テレビでごみの分別リサイクルは、お金がかかり意味がないと放送されているせいか(燃えるごみの中に紙をまぜないと生ごみだけでは燃えないなど)、市は無駄なことをしていると思っている人が多いように思う。どんな情報があろうと、決められたことは守ると妻は日々分別に力を注いでいる。(男性 40代)
- 不法投棄対策も同じレベルで推進してほしい。(男性 40代)
- 生ごみ処理機の助成は、現在はないのだろうか。家庭菜園をするようになったので、生ごみを家庭で堆肥化すれば、ごみの減量にもつながると思うので、助成があれば利用したい。(男性 40代)
- 経済の活性化、人口の増加でごみ量は増加するのだからごみ処理にかかる費用の削減に注力すべき。(男性 40代)
- 今まで、ごみの分別をいろいろしていたけれど、リサイクルのことだけを考えていて、ごみの減量化のことはあまり気にしていなかったもので、これからは減量化にも気をつけたいと思いました。(男性 40代)
- 一人一人の意識によるというところは大いにあるが、ごみになる過剰な包装や不要な包装を避ける。また、使えるものは再利用し、再生されたものを意識的に使っていく。個人レベルでも炭酸ガスの排出を抑えることを目標にしている。(男性 40代)
- 必要最低限のごみしか出していないため、個人ではこれ以上無理である。(男性 40代)
- プラスチックや金属類は分別がわかりづらい。他の市町村などを見習うべき。プラスチックの日など、網で3種類に分別。トレー、発泡スチロール、ビニールのほか、プラスチックはリサイクルできるはず。ごみを有料化するなどもってのほか。それならば、税金で花火を上げるなどやめるべきではないか。(男性 40代)
- 市民にごみを処理するには労力とお金がかかっているという意識づけが必要と考えます。したがって、ごみ袋の値上げをしたらどうかと思います。種類をふやし、20リットル・45リットル・70リットルなどの値段を設定する。粗大ごみはすべて有料化。(男性 40代)

V 自由意見

- 紙やダンボールなどは公会堂単位で回収BOXなどを設置し、補助金を出す。有料化は絶対反対。ごみだらけになりそうです。(男性 40代)
- 年々プラスチックごみが多くなっているのに、週1回の回収では分別して家に置いておく場所も限られ、においも出て嫌なので、つい燃えるごみと一緒に出してしまう。回収場所も遠い。燃えるごみの場所に出せないのが本当に面倒。(男性 40代)
- ごみに関して今まで困ったことは、粗大ごみと家電製品です。ごみの分け方便利帳を見て分別しますが、いろいろな種類がまざった製品が多いので、一概に燃えるごみや埋立に分類されていても、本当にこの分別でいいか迷うこともあります。もっと手軽に分解・分別できる製品を企業とコラボレーションして開発していければいいと思います(市推奨製品などの指定)。(男性 40代)
- 不要な物は買わない。レジ袋・包装などはできるだけ断る。修理可能な物は修理して使用する。ごみの分別をして、紙・ダンボールなどは集積所へ出す。(男性 40代)
- 庭木と植木の処分の日がほしい。長さや重量で区別を少なくできる方法が望ましい。分別収集の日を月1回ではなく月2回にしてほしい。(男性 50代)
- 夏場は特に缶とペットボトルの回収をもう少しふやしてほしい。せめて月2回くらいないと、あまりすぎて困ります。スーパーで集めてくれると思っていても、勤めているとそれもままならないことがあります。(男性 50代)
- ごみは生活への縮図であり個人情報といえる。有料化ばかりに目がいつているようですが、慎重に取り組むことを忘れずにいてほしい。(男性 50代)
- 分別が多すぎるので分別の種類ごとに週2日の収集をしてほしい。(男性 50代)
- 有料化はごみ出しのルールを守れない人が多くいる中で、制度の多角化となるためきちんとルールを守る人とそうでない人との二極化がますます進んでしまうと思います。有料化を具体化する以前に全市民がごみの減量化とリサイクル推進の意識を持てるように、地域と市が協力して働きかけをすることが重要だと思います。(男性 50代)
- ごみが多くなり処理に経費がかかるようになったのは仕方のないことであると思いますが、一度有料になると高速道路や税金と同じように年を追うごとに複雑になり、経費が多くかかるようになり、結果として値上げにならないようにしてほしいと思います。(男性 50代)
- 自分自身は減量化にかなり貢献しているつもりだが、それに対して無関心、無知な人との落差が大きすぎて、不公平感を持ってしまう。近所の人々が平気でごみの指定曜日や処理の仕方を無視して捨てていくのを見ても近所ゆえ注意もできず、苦々しい思いで無力な自分を感じる。違法に捨てたものも、違反の張り紙をしていても、ほとんどその人は持ち帰ることなどなく、結局は処理されていくのを見てみると「捨て得」と思ってしまう。極論かもしれないが、持ち主が完全にわかれば罰をつくってもいいと思う。それはそれで現行犯かどうかなど、さまざまな問題も発生すると思うが。(男性 50代)
- 製品をつくれれば、いずれごみなどの処理が必ず必要になると思います。製品メーカーにリサイクル料として最初から製品の何%を負担する仕組みをとるべきである。空き缶は必ず捨てられるがそれを個人や公共団体に負担して処理するのはおかしいと思います。(男性 50代)
- 問8の⑥(学校でのごみ減量についての学習機会を充実させ、親子でごみ減量に取り組む)をすることにより、子どものときから必要性を認識するようになるのだろうか。(男性 50代)
- 企業から出るプラスチックのごみは再利用されているのに、家庭から出るプラスチックは燃えるごみで処理される。これはもったいない。分別を徹底して再利用すべき。(男性 50代)

- 富士山が世界文化遺産に登録されました。これまでごみの問題で登録が難しかったことは富士市民としても恥ずかしいことです。これから未来の子どもたちに美しい富士山を残していくために、富士市ももっと力を入れてごみ問題に取り組んでいくべきです。通りに面したごみ集積所などに見られる、マナーの悪いごみの出し方が気になります。地域で見守る方法があればいいと思います。
(男性 50代)
- ごみの出し方は、今まで通りでよいと思います。ただ、大きな電化製品などの日に捨てられないものがあるので、そのことを何とかすれば、ごみの日に別々に捨てられると思います。
(男性 50代)
- ごみの減量化とリサイクル推進がされると、どのような効果があって、どのくらいコストがかからなくなるなどの説明をまずしっかりして理解をさせることが重要と思う。ごみ減量化とリサイクルの方法や工夫をもっとアピールするとよいと思う。
(男性 50代)
- 特にありませんが、ごみの分別が富士市よりもっと複雑で厳しい市もあります。
(男性 50代)
- 以前引越しのため、処分物を分別して処理場へ持っていったが、受け入れ側に結局こちらが分別したことが、意味のない対応をされた。職員側の意識ももっと高く持つとともに、焼却する際発生するエネルギーなどを効率的に利用する仕組みが必要と思う。リサイクルするにしても、リサイクル業者が不法投棄しては何のことかわからない。価値ある物に変える仕組みが必要であろう。これでもいずれば焼却になるので、焼却システムを十分考慮し、分別ごみに合った焼却炉の導入を考えたほうがいいと思う。食品業界向けに生ごみや残飯などを堆肥として活用できる仕組みを、市として取り組んではどうか。個々の事業所負担では資金的に厳しいだろう。
(男性 50代)
- 掛川市などのよいとこ取りでトライする。
(男性 50代)
- 個人（世帯）レベルでの減量化手段と実績、同じくリサイクル事例を多数公開することにより、「このようなことができる」、「なるほど」などと、今後の行動に直結する情報を身近な伝達手段を通じて開示してもらいたい。
(男性 50代)
- 古紙の集積所で持ち去り業者（トラック）を目撃したことがある。そのため、古紙収集量が増加しない。
(男性 50代)
- やらないよりよいと思うが、これが何ごみになるのかということすら不明のものがあります。家庭からもっと楽にごみが出せるようにする方法を専門家に考えてほしいと思う。
(男性 50代)
- 市の境に住んでいます。隣の市からのごみの持ち込みが多いので、地域だけでは対応が難しいです。行政の力を借りたいです。外国人へのごみの分類をしっかり指導してほしいです。何でもごみ袋に詰め込んでいるので。
(男性 50代)
- ごみをもっと分別すべきです。
(男性 50代)
- 現状よりさらに細分化した分別をしないといけないと思いますので、他市町村での成功例を参考に進めてほしいです。
(男性 50代)
- マイバックがあるように、マイ容器持参で購入可能な生鮮食品の商品を小売化する。
(男性 50代)

V 自由意見

- 理念はとてもよい。誰もが賛成すると思う。「よさ」はわかっているが進まないのはその手間のせい。だから「そのよさを広くPRする」などは意味がない。誰もが言われなくてもわかっていることなので。実のあるものにするためには、その手間をいかに減らすかにかかっている。
(男性 50代)
- 自動車のエコカーを推進する取り組みは、たとえリサイクルされても廃車にすればごみは出るし、新しい車をつくるのには二酸化炭素も出る。その上、古い車の税金が高くなるというのはありえない。
(男性 50代)
- ダンボール・新聞紙などの集積所を増設する。プライバシーに関する紙ベースの物は、燃えるごみとして出しています。郵便物・年賀状などは、人に見られたくないなどの理由から可燃物として出されている家が多くあるのではないのでしょうか。これらを解消する必要があると思います。シュレッダー活用など。
(男性 50代)
- 私の家では生ごみは堆肥化して庭や菜園で利用しているため、燃えるごみを出すのは2週間に1度くらいであるが、庭や畑のない人にとっては堆肥化しても行き場がないため、そのまま捨てていると思う。廃油と同様、小学校で回収などをして、花いっぱい運動をしている会や農家、ホームセンターなどで無料で分配すれば、ごみとして捨てられる量は大幅に減ると思う。小・中学生が学校を通して家庭に通知してくれれば、生ごみを堆肥としてリサイクルする流れが一気にできると思う。市が生ごみを収集するより、家庭に堆肥化まで任せてから収集したほうがよいと思う。
(男性 50代)
- ごみの分け方便利帳の分別一覧に載っていないものがあり、もっと判断に迷わないように、多く記載してほしい。わからないから面倒になり、やたらなやり方で捨ててしまう。分別しやすさが減量化になっていくと思う。衣服のリサイクルはとてもよいと思いました。
(男性 50代)
- ごみの減量化とリサイクル推進についてのアイデアや実施例を広く応募し、懸賞とする。そして富士市などで実施可能なものは実行する。
(男性 50代)
- 何事も無関心ということが多い時代です。将来大変なことになるとわかっているに関心を持たないことが多くあります。家庭・学校での教育、そして道徳教育が不足していることが考えられるのではないのでしょうか。無関心に関心に変える方法は日々の教育ではないだろうか。
(男性 50代)
- 私ども男性には、わからないことが多いです。自分から進んで取り組むなどは極力少ないと思います。男性も、この件について手伝いたいと思います。古い考えですみませんが、簡単に情報がもっと入ってくれたらと思います。
(男性 50代)
- 市民一人一人が、ごみと環境問題を真剣に考え、将来の展望を見据えた上でのごみ処理有料化が絶対不可欠と私は考えます。
(男性 50代)
- 古紙の減量化のため、広報類の電子化（ウェブ上で配信）を進め、世帯ごとに紙の配布不要を選択できる制度を導入してほしいと思います。
(男性 50代)
- 子どものときからごみ減量について学習させる。
(男性 50代)
- 古紙回収ボックスのようなものを、市役所や公園などに置いてみてはどうか。
(男性 50代)
- 焼却によって出る熱を利用する。
(男性 50代)

- ペーパーレスの時代とはいえ新聞の発行部数は世界トップクラスの数であり、紙のリサイクルは積極的に行う必要がある。富士市は袋・紙のまちであり、日本のトップモデルとなれるよう努力する必要がある。
(男性 50代)
- リサイクルのためプラスチック製容器の回収をしていますが、プラスチックの場合、原材料種類別に分別しないとリサイクルには回せないはず。本当にリサイクルにしているか疑問です。また、リサイクルであるなら有価になるとは思います。これまで収入額の発表を見たことがありません。分別ごみの中に他の種類のものが入っていると、収集せずに残していくケースが見られるが、結局そのままいつまでも置かれていて、ごみの散乱になっている。どんなごみでも収集すべきです。
(男性 50代)
- 有料化した場合、不法投棄を考えて計画を決定すること。ごみの量に対して価格差をつけること。不公平感をなくすこと。
(男性 50代)
- 最近になって、「だっくす食ん太くん」の存在を知りました。大変すばらしい製品と思い、近々購入予定です。富士市内の世帯の大半は自宅に大なり小なり庭を所有していますので、生ごみを有効活用し、資源の有効利用に努めるべきだと思います。そのための行政によるPR活動、公教育現場でのごみ減量化に向けた取り組みを積極的に推進すれば、さらにステップアップすると思います。
(男性 50代)
- ごみの分別減量化は重要な課題であり、市は積極的に取り組んでいると私は感じる。近隣地域と比べてもごみ減量化に関する活動が進んでいると評価する人も多い。しかしながら、過去の公害問題を乗り越えてきた富士市の背景からするともう少し改善の余地はあるように思う。今後、分別が進むと生ごみがふえる傾向になると思われる。焼却の際に使用する燃料（助燃材）は水分に比例すると思うが、「分別が十分でなかった過去」、「今現在」、「分別の仕組みがしっかりできあがった理想の時点」、それぞれの燃料比率などを市民に知らせるのも、いいアピールになるのではないかと。家庭でできる水分の除去方法などをもっと積極的に広報で紹介し、分別をしっかりとすることと水分を減らすことをセットで実施できる体制を構築する、さらには分別をここまでやれば職員を何名削減でき、税金がこれだけ少なくなるという数値を出してアピールすることもインパクトがありいいと思う。また、富士山が世界文化遺産に登録されようとしているが、富士山のごみの多さは市民であれば誰もが知っている事実だろう。このごみを撲滅するためにもっと知恵を出し合うことを進めてほしい。高齢化社会が進む中で、健康な熟年の活用やボランティア・NPO、さらには公務員全員が年1～2回無料奉仕でごみ撲滅に取り組むなど市民に見える形で、自らが率先する活動をしてみてはどうか。市役所全員が現場の最前線で活動している姿を見せることが市民からの賛同を得る大きな手段と思う。今、世間は24時間スパンが当たり前となっている。その代表がコンビニエンスストアであり、それを利用する人もまた昼夜問わずふえる傾向にあるように思う。コンビニエンスストアは街中から相当な山間地にまで増殖しており、こうこうと明かりをともしている。何とかこれをごみ収集に活用できないだろうか。ごみの集積所管理はどの地区も苦勞しているところだが、曜日を決めて時間を区切ると、収集する側の立場に立っての見方だけでなく、出す人の要望をできる限り受け入れるという姿勢も大切ではないだろうか。コンビニエンスストアとセットでさまざまなごみの集積場所をつくり、そこには24時間体制で管理人と防犯カメラ要員は、若者からお年寄りまでが募集にたくさん手を上げるのでは。コンビニエンスストアの防犯も兼ねてというのはどうか。報酬の原資はごみ軽減と公務員の給与を世間並に合わせることで捻出するなど、大胆な発想で多方面からの未来構想を立ててみると意外に面白いアイデアが浮かぶのではないかと。
(男性 50代)

V 自由意見

- 大型家具など、使用できるものを無料で取引できる場所を設ける（リサイクル推進）。捨てる物、ほしい物をインターネット・広報・まちづくりセンターなどに掲示する。基本的に無料とする。
(男性 50代)
- すべての家が堆肥化しても、必要ないところもあるため、市が農家へ安く売るようにしたらどうでしょうか。安く手に入れた農家は経費が安く済むため、野菜を多く販売できるシステムができればよいと思います。大型ごみは有料化してもよいと思っています、リサイクル法で冷蔵庫はすでにお金を払っているのです。
(男性 50代)
- 全国の自治体の中には、ごみを 20 種類に分別して収集しているところもあるようですが、はたしてそれでごみの減量化につながるかデータがはっきりとわからず疑問です。それよりもごみの中に、日本独特の過剰包装があると思います。包装材料で生計を立てている人もいるのでその人たちには悪いけれど、もっと簡易な包装をしたほうがいいです。ヨーロッパのある国でパンを買ったら、ビニール袋ではなく、茶色のきれいとはいえない紙袋に入れてくれて、ごみを減らそうとする意識を感じました。簡易包装のよさを日本人に意識づけることが大切だと思います。
(男性 50代)
- 市民に負担をかけすぎる。システム全体を見直す。高齢者に分別は負担。「なんでも燃やせる焼却炉」と言われ、ごみを出していた世代への説明が大事。高齢者世帯を回りよく説明し、困っていることやこうしてほしいことなど、足を使って聞き取るのも大切。
(男性 50代)
- 先日、埋立ごみの収積所の清掃をしたのですが、燃えるごみと缶や金属がまざっていたため、回収されずに集積所に置いていかれました。前年度に回覧板で見て、気をつけてくれていると思っていましたが、分別ができていない人がいるみたいです（ごく一部と思うのですが）。できれば、分別内容も詳しく知りたいと思う。もう少し、家庭で分別の意識を高めるようにしたいです。
(男性 50代)
- ごみといっても、リサイクルできる物と焼却・埋立処分する物によって、経費も違ってきます。分別の徹底もよいのですが、焼却熱をエネルギーに変えて電気や温水などに使用するのであれば、ある程度プラスチックなども混入して焼却したほうが熱エネルギーもあがるのではないかと。また、木材などは分別によって焼却分と再利用分に分けて、チップなどの業者に委託し、リサイクルを推進してはどうか。
(男性 50代)
- 現在と将来の問題にわけ、学校教育の中で扱うことが、今後に向かって必要だと思います。
(男性 50代)
- その他の紙やプラスチック製容器包装をごみではなく、資源としての認識を高めてもらう活動が重要と思う。さらに、そのリサイクル資源を手軽に回収できる工夫が必要です。コンビニエンスストアなど、どこにでもある所に、毎日いつでも回収できる箱を設置するなど。
(男性 50代)
- 家の前の小さな水路に、昨年から 30 数年ぶりに蛍の飛ぶ姿を見ました。宅地開発が進む中でも残された田んぼを守り続けている農家のおかげだと思います。「農薬の減少」「下水道の整備」「ごみの減量化」などが着実に進んでいると実感しています。世界遺産となった富士山のふもとのまちに住む者として、ごみの減量化にできるだけ協力します。さらに、自然と向き合い循環型社会をつくるために努力したいと思います。
(男性 60代)
- 物を買っても包装などしてもらわない。
(男性 60代)
- 生の物は一度にたくさん購入せずに、その日に食べる分だけ買うようにする。
(男性 60代)

- この問題は市民への対応が重要で、それによって結果が生じると思っています。地域の自治会(町内会、区民会、各関連組織団体)などの談合または講習などにより、市政の現状を市民に把握してもらい、その結果地域の自治会がこの件につき対策を検討し、市民の同意を得るような良策を作成していくことも肝要と思います。(男性 60代)
- ごみ(燃えるごみ)の中には衣類などが結構多いです。簡単にごみの日に出してしまっています。まちづくりセンターで回収していることを知らない人もいます。衣類の日があるといいと思います。衣類は物がよければリサイクル、(そのまま)物が悪くてもウエス・フェルトと用途はいろいろあります。私は市民ふれあいバンクをよく利用しています。遠いが車で持って行きます。近くにあれば便利と思います。(男性 60代)
- 確かにごみの排出量は多くなっていると思うが、少子化が進んでいるために人口も減少し、そのうち少なくなっていくのでは。(男性 60代)
- ごみを有料化するとまちの内外にごみが散乱するのではないか。現在、市内のあちらこちらにごみを投げ捨ててあるのを目にします。特に10代からの若者がこのようなことをするのはではないか。小・中学校でのごみの処理についての勉強も必要と思います。(男性 60代)
- コンビニエンスストア・持ち帰り食品店・量販店などでは袋など規制がなく、特に食品部門では袋などを捨てるケースが多く規制する必要があると思う。市の広報からプラスチック・ペットボトルは回収益の赤字が大きいのので、商店に対して袋・ペットボトルの売上によって税を負担(特別税)させたらと思う。(男性 60代)
- ごみの減量は個人の意識の問題であり、個人の意識を高める施策を充実させることが必要と思います。(男性 60代)
- フジスマートプラン 21 の成果と現状などを報告し、市民の理解を得ながら今後一層の協力を求めていく方針がよいのでは。(男性 60代)
- EMぼかしを実践してみましたが、ごみが出る量が安定せず、1~2週間でぼかしの醗酵状況が理解できなかつた。体験なしに実行するのは難しい。コンポストを購入しましたが、パンフレットだけでは理解できずやめました。生ごみの乾燥化が楽です。電気代がかかっても水分を落とせば、においの発生も少なく、市の焼却処理も効率がよくなると思う。乾燥機の改良を推進してみてもどうか。青少年のごみに対する教育を早く始めることです。環境と経済の両面から自分たちにとって有効なことで、そこにビジネスチャンスも多くあり、自分たちの働く機会を生むことができるだろう。(男性 60代)
- 投げ捨てや不法投棄は子どもたちに対して恥ずかしい行為である。一人一人のモラルの問題だが、みんなでまちをきれいにするという意識を持つべき。富士山がある富士市を、誇りを持てるきれいで住みよいまちにしていくよう、美化運動や町内の清掃などを地域ぐるみで展開したい。(男性 60代)
- 個人の考え方の問題だと思います。現実にごみの廃棄についてマナーを守らない人がいる。指定日以外の日に捨てる人、出してはいけないテレビなどの電化製品を夜間に捨てに来る人など。(男性 60代)
- 何事もやりすぎはよくない。あまり締め付けすぎると資源ごみと同様に不法投棄のもととなるので、かえって税金の無駄遣いになる。(男性 60代)
- 最近特に感じているのはプラスチック製容器の回収が徹底されて、ごみ減量に大きくプラスとなっていることです。古紙の駅がいたる所に設置され、家庭系ごみにまぜなくなった(月1回の古紙その他)。ごみは生活にかかせない共生ですので、以前は集積所の片づかない所がありましたが、今では片づいていると思っています。収集される人たちの協力に感謝をしています。(男性 60代)

V 自由意見

- ぼかしの容器のコストが高く、ごみ減量化に反する。ぼかし用バケツの無料配布を受けたが、10リットルでは小さく役に立たない。スマートフォン用アプリはiPhoneしか対応していないのでは。ごみ処理の有料化を前提としたようなアンケートは違和感がある。このようなアンケートに基づく有料化は反対です。(男性 60代)
- 生ごみの堆肥化をすればごみは大幅に減量できると思うが、実際やってみての実感としては、家庭で実施するとなると負担は大きいと思う。区単位で生ごみの堆肥化の装置は設置できないだろうか。紙類は月に1度の回収では、紙ごみの置き場所に困る。もう少し、各地区に自由に持って行ける集積所があれば「その他の紙類」も含め、リサイクルに回ると思う。(男性 60代)
- ごみの収集日に行くと、袋の中にいろいろまざっているなど、分別状況がひどい。また、収集日でもないのに集積所に置いていく不法投棄が目立つ(リサイクル品など、禁じられているものが置かれている)。市でも、特に集積所のひどい所にはダミーでもよいから「監視カメラ作動中」などを設置してみてはどうか。(男性 60代)
- ごみの減量化とリサイクル推進を市として考えているように受け取りましたが、市役所の人員を減らして市民生活を豊かにしたらベストです。(男性 60代)
- 偉そうに言うわけではないが、市に金がないので、テーマであるごみ減量化とリサイクル推進は市が重りになってしまうので、町内へ話して進めてほしい。(男性 60代)
- 業者に過剰包装をやめさせる。毎日ごみの受け入れをしている業者を公表する。(男性 60代)
- ペットボトルやプラスチックを分別していますが、最終的にはどこでどのように処理され、活用されているのか今一度教えてほしい。(男性 60代)
- 現状を考えると、ごみの分別が細かすぎ。高齢者是对応しづらいのではないか。逆に細分化ではなく、もう少しわかりやすくまとめたほうが、かえってごみが減るような気がする。(男性 60代)
- 必要以上の物などは買わない、使用しない。(男性 60代)
- ごみマイスターを増員して地域での活動をふやす。(男性 60代)
- 一人一人がルールを守り、ごみを減らすように努力しましょう。(男性 60代)
- リサイクル型の社会構造に変化させていく必要があると思います。有限な資源を使用して、人間が使い終わったら廃却してごみにすると、いつかは資源がなくなります。(男性 60代)
- 買えばその分ごみもふえるので、買い物も週何日かはお休みします。ごみの減量にもなるし計画的にもなります。もっとリサイクルは広めてほしいです。よく乗り捨てられている自転車を見かけます。直して使えるのなら市で安く売るとか、欲しい人に譲るなどをもっと広めてほしいです。(男性 60代)
- 無駄な買い物はしない。(男性 60代)
- 生ごみ中のパッケージ(燃えるごみとして処理)の量について調査、情報公開してごみ減量につなげられないかと思う。(購入時の意識改善など)(男性 60代)
- 植木やミカンの剪定枝などは自然のものなので、畑などで焼却してもよいと思う。(男性 60代)
- 最近、古紙回収業者の設置しているコンテナが、恩着せがましく無料と表示されていますが、昔はトイレットペーパーなどと交換していた。これを市の収入源になるよう考えて努力してみてもどうか。(男性 60代)
- ごみの減量化をするには、市と地域で説明会などを実施し推進する。(男性 60代)

- とにかく余分なものは買わないようにしています。 (男性 60代)
- 生ごみを極力出さないため、庭の一部に生ごみ堆肥コーナーを設けている。庭の広い家には啓蒙活動をしたらどうか。 (男性 60代)
- 私の家はごみ袋が15リットルと45リットルがあるが、ごみが少ないので15リットル以下の袋があればいいと思う。清水と沼津は買い物袋をごみ袋として使っていていい。野菜をつくっていれば別だが、生ごみを堆肥化するのは面倒。 (男性 60代)
- ごみがますます多くなると環境問題に波及するものと思われ、排出者負担にすべきである。特に、町内会に加入していない人への働きかけはどうか聞きたい。その人がルールを守っていないとは言わないが。 (男性 60代)
- 古紙回収を積極的に行って下さい。町内会・PTA・子ども会・老人クラブなどに協力を依頼して下さい。 (男性 60代)
- 経済活動上、最近のごみの多くは広告(チラシ・DM・カタログ雑誌)などで分別の煩わしさが増してきている。個人情報の記載もあり、リサイクルにまわせない。 (男性 60代)
- 有料化の案があるようだが、一人一人がもう少し「分別」の意識を持って取り組めば、減量化につながるのでは。プラスチック製の容器や包装なども洗ってから乾かして、プラスチックの収集日に出せる。これも手間だが、一人一人が意識すれば、減量化につながる。 (男性 60代)
- 私が住んでいる大淵は、家の近くに畑があり、生ごみの量は他地域と比べ少ないと思う。私も生ごみは一切出していません。税金の用途については(ごみの燃料費)、量の大小に関わらず一律でよいと思う。 (男性 60代)
- 私の家では、できるだけリサイクルについて分別や資源化に協力しています。ただ、生ごみについては堆肥の活用ができないため、可燃ごみとして処理しています。市が生ごみを資源物として分別収集し、堆肥化およびバイオマスを使用をしてもらえれば協力します。衣類のリサイクルもまちづくりセンターでの拠点回収から、ステーション回収に変えてほしい。 (男性 60代)
- 市の指定ごみ袋は、非常に強度が弱く、ごみを出すときには二重にしないとごみ袋は破れる。袋を多く使用するので、減量化にはならない。ごみ袋に業者のCM表記は取りやめる。特に従業員を大切にしない業者の掲載は市のイメージが悪くなると思います。 (男性 60代)
- 分別収集したリサイクルの結果が見えない。焼却場の担当者が偉そうで態度が悪い。ごみの持込を悪人のように扱う。どう出してよいか、分別の仕方がわからないものが多い。焼却場の人は、ごみを持ってくる人を客と考えるべき。民間の考えとかけ離れている。ごみがなければ楽と考えているようだが、それでは人も仕事もなくなる。また、紙類については、地元の製紙会社へ勉強に行くべき。富士市役所はもっと頭を使って汗をかいてほしい。人数も多すぎ。 (男性 60代)
- ごみ処理を行政ではなく企業形態にする運営の研究。 (男性 70歳以上)
- 公園の草取りや、家庭の草・枝などを燃やすには火力が多分に必要と思う。私は畑で廃浴槽をコンポストにしています。 (男性 70歳以上)
- 現在のごみ袋での記名はほとんど守られていない。記名が守られるような取り組み強化を図ってほしい。記名が守られるようにやれば減少区別も守られます。他区の委員と各區別強化を図ってほしい。 (男性 70歳以上)

V 自由意見

- ごみの分別パンフレットを毎年作成して配布すること、町内に減量推進員を置き、できれば全世帯に説明をすること、このことを継続することが大事だと思います。なお、私の住む当地区では4月の各年度の班長常会で地区区長や副区長からごみの出し方に関して特別に説明がありました。
(男性 70歳以上)
- 私は毎日ごみの減量について考え、ごみを出さないように生活をしている。(男性 70歳以上)
- 古着の交換会を実施(再開)してほしい。(男性 70歳以上)
- ごみの減量化とリサイクル推進について、もっとよい方法を考えて具体的に指導してほしい。有料化することも必要だが、不法投棄がふえ、さらに増加につながる恐れがある。同町内のものは当番制を設けているので、減量化については認識しているが、どうしても外からのポイ捨てが多く、マナーが悪いのも大きな問題である。これらの対策を考えてほしい。(男性 70歳以上)
- 個人だけでなく輩出する生産者(企業)に応分の負担をすべき。現状、空き缶・びんなど一部の販売者は頑張っている。(男性 70歳以上)
- ダンボールコンポストは雨にぬれてはいけなく、置く場所がないため、処理機でも安く買えるものを考えてほしいと思います。それを市民全員が市から買う形でやってほしいです。そうでないと回覧やチラシでいくら言ってもなかなかごみは減らないと思います。(男性 70歳以上)
- 有料化に反対する。山林や沢へのごみの投棄が多くなる。現状の電化製品の料金の2度払い、運送料金が理解できない。緑化に反対する。落葉や折れ枝が多く、ごみを多くしている。切枝を100%活用しているとは思えない。(男性 70歳以上)
- 日常生活のことですが、ごみは減量する方向が必要と思うが、しだいに風化する。市が、処理するものの流れしか考えていないように思う。生活の中では片づけは親の日常の仕事として考えている。親から子どもへの指導はないので、学校で子どもに、ごみ処理に税金が使われていることや、焼却炉の見学などの中で建物や人件費などの予算を話すことにより、ごみの風化はなくなると思う。初期はよいが、年数を重ねると次第に面倒になるとともに戻るのも、日常生活の中では子どもへの教育は必要と思う。親はあまり指導をしないと思う。市の古紙収集量をふやすことについては、市によるサービスも必要だが、限度があると思う。市の予算・人員体制などを考慮し、ごみに関しては最低のサービスでよいと思う。(男性 70歳以上)
- 富士市は全国的にも紙のまちです。古紙回収に今以上に力を入れ、市民全体で古紙の分別回収をしてリサイクル100%にして、ごみの減量に力を入れるべきです。生ごみの減量は、家庭で「だっくす食ん太くんNEO」を使い、市は力を入れて減量を目標にするとよいと思います。
(男性 70歳以上)
- ごみの減量化とリサイクル推進に期待する。市民一丸となって推進したい。他市町の研究もしてほしい。(男性 70歳以上)
- リサイクルとして再利用できる剪定枝の収集を、ルール通りに出せば処理もその通りにできるが、出す人、集める人がルールを守らないため、焼却されてしまいます。まだまだ市民に対する広報(分別その他)が不足していると思う。(男性 70歳以上)

- ごみは資源であり、宝であるということの意識改革が絶対的に必要である。不法投棄がなくならないのもその意識が欠如しているからである。スーパーの駐車場でごみの置き去りを見たことがあるが、子どもも見ていると思う。情けない国民になり果ててしまったものだ。喫煙所でもない場所で吸って、吸い殻をポイ捨てするのも、誰も見ていないところでは平気のようだ。私は某大手スーパーで、カートを集配、リサイクル品の集配を担当していますが、本当にこれでよいのだろうかと思われることがあり、現実を記します。紙類については、新聞紙用・ダンボール用・その他の紙用と、3か所の大きな大きな箱を業者が用意しました。各箱は、1週間もしないうちに満杯になります。しかし、中身はいろいろな種類の物がまじったままです。それでも業者は何一つ文句を言うことなく回収していきます。市の集積所に持って行けば持ち帰られるのが関の山。市での回収減は当然と思われまます。ペットボトル・トレイにしても然りで、お客様(?)に対しては何一つ、注意も指導も、お願いすらもできない状態なのです。ただひたすら中を調べて異物を取り出して、分別して送り出しています。各専用のBOXに、異物混入が甚だしく、すぐ隣にごみ箱があるのに、弁当の食べ殻がトレイの箱に入っていたり、ペットボトルBOXにはアルミ缶、果てはワンカップ(酒)のびんが入っていることが時々あります。それが原因で、次工程で大きな事故があったとは聞こえてこない。不思議に思われます。このような現状ですので、厳しい市での回収はますます減り続けると言わざるをえません。(男性 70歳以上)
- 今の方法でよいと思う。(男性 70歳以上)
- 集積所近くに居住しているので、地区の住人のごみの出し方などをいつも目にしており、敷地の広い農家関係の人が枯れ葉や枯れ枝を大量に出しているのを見かけたりします。私は新興住宅地で敷地も狭く、家族も少ないため、ぼかしやコンポストを生かしていませんが、地区の住人が問題意識を持ち、再利用できる資源の分別や、草木はなるべく枯らして軽量化してから出したほうがよいし、私も実行しています。今年からごみ集積所の当番になった人はいつも熱心にごみ袋をカラスに荒らされないよう網の奥に3段くらいに並べ替えて整理整頓してくれています。地区の住人も見習って、しっかりと出した出し方を徹底してもらいたいです。(男性 70歳以上)
- ごみの分別、例えばプラスチックとペットボトルを同じ袋に入れ、回収されないで、添書がついて残されていることがある。もっとごみの減量化と同時に知識がよくなるよう、町内などで指導することが肝要である。(男性 70歳以上)
- 過剰な新聞広告をなくすよう、行政は努めなさい。要するにごみの発生源を抑えることが最大の問題である。(男性 70歳以上)
- 生ごみの堆肥化の説明を広報紙で簡単にPRして下さい。(男性 70歳以上)
- 植木や日よけに植えた木の剪定葉など、高齢者が悩んでいる現状をどのようにするのか、十分な配慮が必要かと思えます。(男性 70歳以上)
- 集積所については、高齢者住宅、特に非健常者住宅での粗大ごみや埋立ごみなどの集積所への搬入については一考の余地があるものと考えます。例えば、特定の日に家の前で済むような方法があれば、リサイクル推進の一助にはなると思いますが。ごみ袋の有料化は既の実施中であり、ここでの設問(有料指定袋制)はおかしい。(男性 70歳以上)
- マンションに住んでいる人のごみの出し方が悪すぎます。一度注意したところ、喧嘩になり、それから誰も注意する人がいません。引越しの前に、粗大ごみを出す日でないのに、ごみ集積所へマットレスやベッドを置いてしまう。古くからの住民は呆れかえっています。(男性 70歳以上)

V 自由意見

- 静岡県民は気候温暖のせいか何事もおおらかな性格の人が多いと思う。特に富士市民は車を追突された人も追突した人も「しょうがない」で終わる。これは視点を変えてみればほほえましいが厳しさに欠ける。悪く言えば何事にもだらしなないともいえる。このあらわれの代表的なものがこのごみ処理の問題である。特に指定日の1日前に出したり、夜中に車で捨てにわざわざ他地域から来るなど、文化人とは程遠い人があまりにも多い。ごみ減量推進員を含めて、それなりの権限を与えて取り締りと教育の徹底を両輪の軸として、市政を進めてほしい。富士山も世界遺産にもなり、山よりもそれを支える地域住民の生活意識の向上と改革を大きな遺産として育むべき。これからの富士は、信仰の富士より心癒す富士として。推進員はボランティアでもシルバー人材センターでもそれなりの方がいると思う。(男性 70歳以上)
- 家庭では分別が定着していると思います。ただ、家庭の植木などで発生する剪定ごみは、春秋の季節に集中すると思います。できれば年2・3回にわけ期日を指定し収集しまとめることによって堆肥化が可能だと思います。生ごみについては、土地の狭い、あるいはアパートなどの家庭では堆肥化は難しい。スーパー・八百屋は近隣の生ごみを集め、皮や葉の部分などは農家と契約して堆肥化し、肥料として使ってもらおう。(男性 70歳以上)
- 私の家の場合、子どもの好き嫌いによる食べ残しの生ごみ量の増加に対しては、親より学校指導による強化が有効。食材の賞味期限切れによるごみ化については野菜を含む各種食材の小分け利用。お店で物を買う際、必要以上の包装は断るようPRが必要(物の大小に関わらずテープのみしている)。(男性 70歳以上)
- 商業宣伝のための新聞折込チラシ・雑誌・家庭への投げ込みチラシなど、頼みもしないこれらのチラシなどには迷惑している。チラシなど配布した業者の回収義務として、ごみの減量化とリサイクル推進への具体的な協力をお願いすることができないかと思います。(男性 70歳以上)
- 富士市の古紙回収は定着している。古紙回収量が落ちているとのことですが、業者の回収ボックスがふえているからです。地域の集積場所をふやすことはない。市の集積所に出すと1kg15円の運搬費がかかる。税金の無駄遣い。業者は0円でも十分商売になるから回収ボックスを自前で競争で置いているのです。業者だけでなく、古紙回収をしている団体にkg単位で補助金を出したらどうか。業者にだけ甘すぎる。(男性 70歳以上)
- 昔は畑に生ごみを入れ、木くずは燃やしたが、今はそれもできません。生活様式が変化し、びんがプラスチック容器に、酒屋ではなくスーパーマーケットで購入など、社会全体が変わっている中でやはり個人の意識が大切だと思います。ごみ分別も始めたころはとまどいもありましたが、今では当たり前になっています。幼いころから親や周りの人が手本を見せることが大切なのは。富士市のごみが減りリサイクル製品にも目を向けていきたいです。(男性 70歳以上)
- いつもごみを回収してもらいとても感謝しています。ごみを少しでも少なく、においも(特に夏季など)意識して努力をして出すことにしています。ごみに関わる人にいつも本当にありがとうと思える市民がたくさんいることを願っています。(男性 70歳以上)
- ごみの源泉を断つことが原点です。私は戦前、戦中を生きた人間として、欲しいものは容器を持参して生活したものである。生産・販売者もどうしたら活動者がごみを出さないかを考える必要があります。(男性 70歳以上)
- 技術を持った人のボランティアを募り、公民館や地域で修理をしてくれる場所を設ければ、利用者がふえて、ごみの減量化につながるのではないかと思います。(男性 70歳以上)

- スーパーなどではプラスチックなどの容器に食品などをほとんど入れているため、その容器の処理などに手間や時間がかかるので、必要以上にプラスチックなどのごみを出さないように、市や県などは業者を教育するといいいのでは。また、びん・缶などにも同じことが言える。
(男性 70 歳以上)
- 食生活が豊かになるにつれ、日本人の中に古来から引き継がれてきた「もったいない」の精神が年々希薄化している。私が子どものころは、物を粗末にしたり食べ残したりするとよく目がつぶれると言われました。ごみの減量化には「もったいない」運動を児童生徒や地域社会に広く進めることが必要と思う。
(男性 70 歳以上)
- ごみ有料化については、いろいろな角度から見て十分な検討が必要と思います。(男性 70 歳以上)
- ごみを夜中に置いていく人がいるため減量化にならない。
(男性 70 歳以上)
- まずごみを出さないこと、最後の最後まで使い切る、余分なものは買わない。(男性 70 歳以上)
- ごみを少なくすることは根本的には不可能です。物質的な増加・多様化はますます拡大します。規制することは家庭内に残り、いつか捨てられます。まずごみは売れる物は売りたい。次に紙ポストのようなものはよい方法です。衣類・自転車など安ければ売れる物もあると思います。市営リサイクルであり、生活を助けることですから大目に見ること。原料や稀少物質の資源についてはわかりませんが、そのまま外国に売れるものは売りたい。ごみ袋への費用の添付はよい方法と思います。
(男性 70 歳以上)
- ごみの排出は基本的には自己責任。ただし、理想的なことは無理なので、分別の徹底。まず燃えるごみから自己負担として有料化する。反発もあると思われるので、市でもある程度負担。ごみマイスターの活用もよいと思うが、最近活動が下火になってはいないか。まず、「これ」と思われた方法はできるだけ広報などで知らせることを徹底し、実施に移すこと。
(男性 70 歳以上)
- 近ごろは製造化学物質などが多くなり、選別に迷いがあります。売る側も余計なチラシを入れるようになり、あるいは家のポストへ毎日のように同じチラシが数枚入れてあります。先方へ連絡をとりますがアルバイトに迷惑がかかると思いやめています。
(男性 年代不明)
- ごみの減量について、市民一人一人が意識しないと何も始まらないと思う。
(女性 20 代)
- ごみの分別がいまいちわからない部分があるので(プラスチック類や紙類)どうしてもわからないものは燃えるごみで出してしまうがちなので、気をつけたいと思います。もう少し、分別に注意してごみを捨てていきたいです。
(女性 20 代)
- とりあえずスーパーの袋や買物袋もなるべく断っている。
(女性 20 代)
- 私は、このアンケートが届くまで、市でごみの減量化やリサイクル推進を行っていることを知りませんでした。このことも含めて市ではさまざまな活動をしていると思いますが、私のような一般市民は市の活動を知る機会がありません。そのため、市では今、何をやっているのか、その活動内容や活動理由をもっと広く市民に認知する必要があるのではないかと思います。
(女性 20 代)
- ごみ処理は年々量もふえていると思うので、リサイクルや無駄なものを買わないなど、ごみの減量化を意識したいです。
(女性 20 代)
- もしごみを有料化にするのであれば、住民税を減らしてほしい。
(女性 20 代)

V 自由意見

- 分別の種類が多いので、何がどの種類のごみかわからないことが多くあります。地方に住んでいたために、そう感じるだけかもしれません。もっとわかりやすくしてもらえると、スムーズに分別できると思います。 (女性 20代)
- ごみの減量化について私が思うことは、土・日曜日でも使える集積所をふやすことが大事だと思います。実際、衣類回収などをまちづくりセンターで行っていますが、土・日休みの人は平日しか出しにいけないため、衣類などがたまるそうです。また、スーパーなどでビール瓶を買い取ってくれるように、ごみの減量に貢献した地域の上位には金券などのプレゼントをすれば、主婦などを中心に行うのではないのでしょうか。少しゲーム性を取り入れて、親子でも楽しく行えるやり方があったら嬉しいです。 (女性 20代)
- ごみを処理するコストと、家庭用ごみ処理機の購入費補助金の費用をもう一度検討してみる。後者がよければより低価格で普及させる。家庭用ではなくもう少し大きな規模でごみ処理できるようにして、町内のごみ集積所に（ごみ処理機を）設置する。家庭のごみも減らすならば、公共の場のごみも減らすべきである。先日、公園の掃除を行ったが、ごみがたくさん落ちていた。そこはごみ箱のない公園だった。昔は置いてあったが今は置かれていない。また置いてほしい。そうすれば、ごみを捨てる人も減れば、ごみを拾った人も困らないと思う。ちなみにごみ箱がある駅前の公園は柳島公園。いつもきれいだった。 (女性 20代)
- ごみを減らしていくこと、リサイクルを進めることの重要性はよく理解しているつもりだが、ごみを減らしていかなければどのような影響や危険性があるか、その意識がまだ不十分である点はよくないと思う。ごみ処理に関する決まりや制度をつくらなくてもごみが減ったり、問題が解決できたりするようであればそれが一番と思うが、決まりがなければごみ減量を進めていくことは難しいと思う。ごみを減らしていく必要があることはみんなわかっているはずなので、ある程度の有料化や決まりがつくられることに反対はできない。 (女性 20代)
- ごみの減量化とリサイクル推進がなぜ必要なのか、もっと詳しくわかりやすく説明してほしいです。ごみがふえるとどうなるのか、減らすことにどんなメリットがあるのか、デメリットも含めてもっと知りたいです。 (女性 20代)
- 私の家では、例えば大根は葉や皮を含めてすべて使用する。じゃがいもや人参も、よく洗い、皮付きで食べる。無駄な物は買わない。このことだけでも家計も節約ができ、ごみ減量にもつながります。 (女性 20代)
- ごみの分別の徹底の必要性が感じられない。分別が必要なのはわかるが、しっかり分別して出しても、他の人がそうでないのなら分別するのが少々ばからしく感じる。なぜ必要なのか、分別した後どうなるのか。それを知りたい。何も知りえない私たちは、分別すらただの建前で、回収した後、市民の知らない所で一緒にまとめているのではないかとすら思える。決してごみを減らしたくないとか、分別したくないのではない。本当に意味があるのか、それを知りたい。ごみの減量と分別にはかなりの労力を要する。それを維持、また発展させていくためにも、モチベーションの上がるような情報がほしい。ちなみに、ごみの有料化には反対ではないが、料金はあまり高くないほうが助かる。某所に住んでいたときに、ごみ袋1枚が富士市の約30倍ほどの値段だったが、捨てるものは減らすにも限度があるから苦労した。 (女性 20代)
- 有料化するより、どれだけ無料でごみを少なくすることができるかが問題になると思います。生ごみ処理機が無料で配布されたら、ごみを減量する人が増加すると思います。 (女性 20代)
- 分別がわかりにくい物が多く、もっとわかりやすい説明をしてほしい。 (女性 20代)

- ごみ減量化のために有料にするのは逆効果ではないでしょうか。「お金が足りないからもらう」と思う人がいると思います。一人一人が意識を持って心がけてもらえるよう、もっとPRが必要。PRが少ないのに急に有料はおかしいです。しかも、もうごみ袋で有料化しているので。有料化するなら、最善を尽くしてからの方が、みんなも納得します。(女性 20代)
- 余分な物は購入しない(食料を無駄にせず、使い切る)。積極的にリサイクル活動をする(ペットボトル・プラスチックごみ・古紙・その他のごみなど)。(女性 20代)
- 近年多くの企業がリサイクルを重視し、積極的に資源削減に努めているので、その意識の持ち方が一般家庭にも広がってほしいと思います。(女性 20代)
- まず、市がしていること自体、私たちもしっかり理解していないし、どうしてそういうことをしているのかも他人事のように感じてしまっていて危機感がないので、そのあたりをもっとPRすればいいと思います。(女性 20代)
- 古着回収ボックスを時々利用しているのですが、まだ着れそうだけどもう着ないし、捨てるのがもったいないので出しているのですが、着れそうな服はまちづくりセンターでフリーマーケットみたいに無料で持っていってもらえたり、10円50円で販売してごみ処理費用にまわしたりしたらどうかと思います。ごみ処理を有料化にされたら困るので。(女性 20代)
- ごみの減量の件はしっかりした考えはないが、リサイクルの面では無料の集積所を多くするべきだと思います。いつも、服や使わなくなった家電製品をどうしようか迷っていて、家の中に置いたままのことが多い。また、大きな物(冷蔵庫など)は無料で回収する。中のレアメタルなどがリサイクルにまわせる。(女性 20代)
- メディアなどを使って発信してもどれだけの人が見ているかわからないし、関心がない人も多いので、まずは地域から目立つ範囲で活動すべきである。(女性 20代)
- 企業に協力を要請する。(昔、酒屋にビール瓶を持っていくと10円もらえるシステムがあった。)プラスチック容器を減らす。分別しやすい商品がほしい。(女性 20代)
- プラスチックごみの日がふえたり、その他の紙ごみで家のごみを分別する機会がふえて、ごみはリサイクルされたりして減っていると思っていたので、ごみがふえていることにびっくりしています。家庭でもできることもあるけれど、どうしても小さい子どもがいたり、介護が必要な高齢者がいるとごみの分別すら大変です。まず買い物をするところから減らせるような工夫があればいいと思う。トレーを使わないで何度も使えるタッパーのような容器を使用するか、お店側にも何か工夫があればいいと思う。(女性 20代)
- その日に出すべきごみとは別のごみが出ている。年始のごみの回収について広報紙に書いてあるのに守っていない人がいる。(女性 20代)
- 影響力のある活動は一つも行われていないと思う。(女性 20代)

V 自由意見

- これまでの取り組みでどのくらいの成果が出たのか、一市民としては大変興味深いです。このデータが配信される機会があれば、地方の広報紙もしくは学校など通してみると、今以上に家庭内でもごみについて考えたりするよい機会にもなってよいと思います。その他の紙の分別については、分別をしっかりしている人の中で「紙袋が足りなくなる」と言う人がいました。紙袋を買ってまで分別する人はいるのか、少々疑問です。であれば、燃えるごみに入れてしまう人が多いと思うので、無料配布希望です。なおかつ、配布される紙袋自体がリサイクル品であれば、分別して出していることに対しての結果が形で現れるのでうれしい。現在は昔とは違い、共働き家庭が大多数です。自分たちの負担や手間さえかからなければ、ごみ処理が有料化でも文句はないと思います。不法投棄はモラルの低い人間の行為であり、人間性の問題です。粗大ごみでまだ使用できるものはリサイクルショップに持ち込めば買い取りをしてくれることを知らないのかもしれませんが。市内のリサイクルショップを教えてあげたいです。有料化によってごみ減量とリサイクルも進むのであれば、私個人としては仕方ないと思います。(女性 20代)
- 世論調査表もペーパーレスで、ネットアンケートにしたほうがエコだと思います。ネットのほうが答えやすいです。ごみ袋を有料化した以降、ごみの減量がどうだったのか気になりました。(女性 20代)
- 私のマンションは町内会に加入せず、ごみ収集業者が直接来ているので、実際には地域とはふれあっていません。しかし、このマンション内でも、まったく関係ない日に月1回収集のごみを捨てたり、収集後にごみを出す人がたくさんいます。この小さなエリアにも問題がたくさんありますし、週2回ある燃えるごみにはかなり大量のごみ袋が出ているのに、月1回の資源ごみは少ししか出ていない現状があります。協力的な人や真面目な人ばかりで取り組んでも、ある程度の所までしかいかないと思います。富士市に住んでいる少しでも多くの人が理解し、協力できるよう、ごみ袋が変わったときのように少し強制的に進めるとよいと思います。(女性 20代)
- プラスチック・アルミ缶・びん類など、常に捨てられる集積所が地区や近所があれば、まとめて捨てるのが大変なこともなく、リサイクルの習慣も身につくような気がします。現にヨーロッパではあるようです。(女性 30代)
- 生活費がいっぱいできている世帯もあるので、ごみの有料化には絶対に反対する。有料化になれば、絶対に不法投棄が目についてわかるから、断固反対する。(女性 30代)
- ごみを減らすよう心がけているが、なかなか減らせない。分別はしているが特に可燃物ごみは減らない。(女性 30代)
- 資源ごみ・リサイクルできるごみは今より収集日をふやしたほうがこまめに分別して収集日に出すと思います。それに、ごみの分け便利帳の内容をもっと詳しく記載し、配布も回数をふやすべきと思います。さらに可燃ごみと同様に集積場所をふやすことで家庭ではごみに対しての意識が高まると思います。(女性 30代)
- 富士市はかつてヘドロのまちとして全国区で有名だったので、逆にこれからは日本一クリーンなまちとしての活動を充実させてもいいと思います。市全体でまちや川のごみを回収したり、空気をきれいにする取り組みを企業がしたり、水や空気のきれいなまちづくりを積極的に行ってほしいです。市民の一人として協力したいです。(女性 30代)
- 汚れた物を資源ごみにするのに、どの程度の物までなら入れてよいのか区別が難しい。(女性 30代)
- ごみの減量に取り組んでいるのはわかりますが、その結果や効果がわからないため、ごみの量で問題になっていると感じることは少ない。課題と問題を市民に正しく伝えることが重要と感じます。(女性 30代)

- 必要ないものは買わないこと。ごみの出し方など言われていることはしっかりやる。(女性 30代)
- 子どもが小さく、どうしてもごみが多く出てしまい申し訳ないと思いました。できる限り分別はしているのですが、ごみを減らすよう日々心がけようと思います。(女性 30代)
- ペットボトルなど、かさばる物の回収日が少ないのもっと多くして、きちんと分別して捨てる機会をふやしてほしい。ごみを減らしたいと思っていても、どうやって少なくしていけばいいのかわからないので、もっと細かく教えてほしい。(女性 30代)
- ごみカレンダーや分け方便利帳があるのは知らなかった。情報誌などはいつでも確認できるので便利だが、それ自体を使わないとごみになるので、スーパーのリサイクル箱や回収ボックスなどで回収する種類をもっとふやしてほしい。目にする機会がふえれば、分別するくせもつきごみも減ると思う。(女性 30代)
- ごみの減量化について希望者には、「だっくす食ん太くん」を無料配布する。もしくは、地域ごとに大型生ごみ回収ボックスを設置する。監視する人は65歳以上のボランティアなど。リサイクル推進について、季節の衣替えや引越しの際に生ずる日用品やベビー用品などの期間限定で使用するものは市をあげてフリーマーケットで活用できるよう、回収先を設置してほしい。以前、愛知県に住んでいたが、名古屋に比べてフリーマーケット開催が少ない。ヤフーオークションは手数料や郵送料を結局負担するので、売主・買主どちらのメリットにもなるフリーマーケットを希望する。(女性 30代)
- 消費者が、捨てることを心配しないで買えるものづくりや販売方法が必要と思う。(女性 30代)
- ごみを減らすためにリサイクルをしているように感じる。リサイクルをすれば逆にお金もかかり、環境にもよくないという話を聞いている(プラスチックなど)。市のお金を無駄に使って、ごみ回収料金を取るの納得いかない。「ごみがこのくらい減りました」というデータのため、または「リサイクルをしています」という、いかにもよいことをしていますというアピールのために(成果のために)お金を無駄に使うのはやめてください。それから、天下り法人がもうかるよう料金設定するのもやめてほしい。それらの経費を節減することにより、ごみの有料化は防げるのではないのでしょうか。(女性 30代)
- 子ども服などまだ着られるものを自由に置いたり、持っていけたり場所があると便利と思います。まちづくりセンターに衣装ボックスを置き誰でも利用できたらと思います。学習机など大きな物で、まだ使えるけど子どものいる知り合いがない場合でも市民同士で気軽に交換できたらと思います(市役所の1階の猫ちゃん里親募集のように)。あと、ごみ減量推進員はいいと思います。面倒だけど1年くらいなら役員が回ってきててもやれそうだし、自分たちで自分たちの問題を解決するのが一番と思う。(女性 30代)
- 何をやっても、市民に結果や利益がなかなか届いてこない。スーパーや誰もが目にできる場所、他の市や県が取り組んでいるように、もっとエンターテイメント的に市民に訴えて、家族や友人と、楽しく取り組めるような仕組みにしないと、今の時代、広報で訴えている「市は情報発信している」という市側の自己満足的な情報の展開方法では、誰も取り組まない。そこを何とか工夫して、アナウンス(結果も含む)しないといけないと思う。公務員だけでは限界がある。おもしろくなく、やる気もない。仕事しているのかわからないのでは意味がない。(女性 30代)
- 厳しいルールを提案し、実行することにより不満が出る家庭も多いと思う。一般家庭ごみの有料化を行ったら、不法投棄やコンビニエンスストアのごみ箱に捨てるような非常識な人がふえると考える。(女性 30代)

V 自由意見

- 私の地区ではごみ袋にはしっかり名前（番号）を記入し、自分たちのごみに自信を持って出しています。プラスチックでもその他でも、ごみは一人一人の気持ちだと思います。だからこそ難しい問題なのでしょうけれど。（女性 30代）
- リサイクルは大切だと思います。しかし、ごみ分別がしっかりできていないのが現状と思います。個々の責任なのですが、「自分さえよければ」の人が多と思う。分別に関してもう少し市などでアピールすべきではないでしょうか。そしてマナーが悪いですね。夜中に生ごみを出す人がいるので、カラスなどが荒らします。ネットがあるのにできていない。汚れていると多少片づけますが、手元にちりとりなどが無いのでできない。ごみ集積所に設置できればよいと思う。そうすれば、目に付いてやる人もいると思う。ほうきやちりとりを回してやっているところもあります。順番でなくても（もちろん当番は必要ですが）ごみがあれば私はやります。そういう人が何人いるのでしょうか。そう考えたら設置するのもよいのかもしれない。リサイクルも具体的に、例えば、リサイクルしたら〇〇になるだとか、自分にかえてくる何かをもう少しPRなどしたらどうか。スーパーなどと協力して目にとまるようにしたらどうか。（女性 30代）
- ごみの減量化とリサイクルの推進が将来に向けての大きな問題ということはわかっていますが、日々多忙な毎日の中で、ごみのために時間や手間をかけることが難しい人はたくさんいると思う。市の回収と違い、いつでも自分の生活リズムの中で行えるスーパーのリサイクルBOXや、いろいろな所に設置されている古紙回収BOXのほうがより利用しやすいが、すぐにいっぱいになってしまう所もあるので、そういうお店や会社に助成をして、より資源ごみや古紙を回収しやすくしてもらおう。市内には回収業者もいくつかあると思うが、処理費が高いため、助成して安価にしたり、広報でPRしたりして、市の回収以外にもごみを処理する方法があることを知らせる。（女性 30代）
- 自分では気をつけているつもりでいるけれど、まだまだ意識が足りていない。有料にしてしまうと、その辺にごみを捨ててしまう人もいそうで、すごく難しい問題です。（女性 30代）
- ごみの減量に関心がある人は、自らその現状を確かめたり、分別もきちんとする人が多いと思う。どちらかという、ごみ問題とリサイクルとかに興味がない人にどう関わることが重要なのでは。広報もウェブサイトも見ようとしない人たち（分別しようとしない人）を、どう市の取り組みに組み込むかのほうが問題と思う。（女性 30代）
- 不法投棄の多くは、大型の家具や家電などなので、気軽に集積所に出せるようにするべきだと思います。回数をふやしたり、仕分けに人やお金が多く必要となりますが、減量化を目的とするなら仕方ないと思います。レジ袋やごみ袋の有料化が当たり前になった今は、多少ごみ袋の価格が高くなっても、受け入れる人のほうが多いと思います。「税金でごみ処理を行ってるので、少なくしましょう」と言われてもピンときませんが、「これ以上はごみ袋の購入時にお金をとりますよ」と言われれば、減らして節約しなければと考えると思います。（女性 30代）
- 「だっくす食ん太くん」は生ごみを減らすためには必要ですが、ガーデニングをしない家庭も存在します。今以上に生ごみを減らすとなると、全世帯が生ごみを分別し、市で回収、そしてバイオマス・ガス化へ「発電」、「熱利用」、「燃料製造」とメリットがあります。軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料を試験的に公用車に導入し、その実用性を検証してみれば、バイオマスからメタンを製造し、エネルギーとして利用することは、地球温暖化防止も期待できます。間伐材を再利用した割り箸なども、ただの燃えるごみではもったいない。きれいに洗って分別回収すれば、分解して端材のパルプと混合し製紙化へ利用できる。（女性 30代）
- ごみが出るもことから変えていく方法（売り物の時点で、容器などに入れてない状態）。あまりごみでの規制（有料）をすると、不法投棄などが多くなることもあるので、ごみが出ないための方法を考えるのがベストだと思います。（女性 30代）

- 有料化が解決には至らないと思います。市民全体の意識を変えていくことが、未来へとつながる施策だと思います。分別しないでごみを出してしまうことを、恥ずかしいとか罪悪感を感じられるよう、ごみ袋の中身をもう少し見えやすくするとか、町内会の人にごみ集積所に立ってもらうとか、ごみ出しの日にごみ集積所で市役所職員が指導にあたるとか、もし可能であれば、草の根的活動もしてみたらどうでしょうか。一番早い方法は、未来を創る子どもたちへの教育だと思います。子どもを通じて親と祖父母を教育していくことが、コスト的に考えても現実可能なので、もっと力を入れて取り組んではどうでしょうか。
(女性 30代)
- 商品の生産者が、もっと梱包に使うビニールや紙を最小限にすると減量できると思います（消費者もごみが多くて分別が大変）。消費者だけの問題ではないと思います。
(女性 30代)
- 個々の意識の問題が大きいと思う。
(女性 30代)
- ごみの減量率が高い家庭や企業に特典をつける。例えば、割引サービスや換金、施設優待サービスなど。ドイツなどのリサイクル先進国を参考に、「もったいない」を推進してほしい。
(女性 30代)
- 燃えるごみ・プラスチック容器以外のごみの収集日がどれも月1回と少なく、家にごみがたまったまま1か月間、次の収集日まで待たなければならないことを不満に感じています。この現状により、リサイクル可能なものも分別せず、燃えるごみなどと一緒に捨ててしまったり、不法投棄ということにつながってしまうと感じています。燃えるごみ・プラスチック容器以外のごみの収集日をぜひふやしてほしい。
(女性 30代)
- ごみの分別はしていますが、家の中に分別スペースをつくるとかなりのスペースが必要になってしまうので、市の回収にはあまり出さなくなった。市の回収をふやすと地域のごみ当番の回数がふえてしまうのでやめてほしい。高齢者だけの世帯の家にはごみを回収しながら様子を見に行きあげるのがいいと思う。夫がリサイクル業者ですが、市の分別と専門業者では分別の細かさが違う。
(女性 30代)
- 近年ごみの減量化によるごみの分別が推進され、私の家でもできる限りの分別に取り組んでいます。ごみを分別するには、収集日まで種類ごとに家に置いておかなくてはいけなくて、スペースを要します。特に古紙類はたまりやすく邪魔になるので、市の収集日を待たずに回収ボックスに持って行くことが多くなります。月1回の収集日のほかに、身近な所にいつでも出せる回収ボックスが常設されるといいと思います。
(女性 30代)
- 富士宮市では週2日ある燃えるごみの日に新聞などの古紙を出せると聞いた。資源ごみを回収業者に回さないため、収集日をふやせないかと思う。
(女性 30代)
- 昔に比べて、スーパーなどの入り口にリサイクルボックス（ペットボトル・牛乳パックなど）が置いてあるので買い物に行くついでにリサイクルでき、とても助かる。以前より「リサイクルしよう」という意識が強くなりました。ごみの有料化については以前、電化製品のリサイクル料（テレビ、エアコンなど）が義務化したとき、山に「ポイ捨て」がふえました。ごみは毎日出るものなので、有料になるとポイ捨てがふえそうです。その他の紙の分別を知らない人が多いです。以前、市が無料で紙袋を配布しましたが（まちづくりセンター入り口）、たまたまセンターへ行ったらあったのでもらいました。その後から分別を始めました。もう少しわかるように宣伝したらどうですか。無料配布にはお金がかかるので、燃えるごみ袋のように20袋100円か200円でスーパーにて販売してみてもどうか。古紙収集は集積所まで持っていきのが重く、つい車で回収業者が設置しているところへ持って行ってしまいます。収集日を月2回や、場所をふやしても、難しいかもしれません。
(女性 30代)

V 自由意見

- ごみ収集日を守らない人が多く、ごみ出しのマナーの悪い人がいるので、そういう人を減らしていかないとごみの減量化は難しいと思います。ごみ袋の中にペットボトルや缶、プラスチック袋にペットボトルや缶などが入っているのを集積場でよく目にします。他の地域から車で来て収集場に置いていく人がいるので問題はあると思います。(女性 30代)
- 個人にとって面倒であり手間なことも、意識改善の上で取り組めば必ず結果が出るのがごみの減量化とリサイクルと思います。それらに取り組んだ10年後と、取り組まなかった10年後では、明らかな違いが見えてくると思います。(女性 30代)
- 今までの方法で減量化やリサイクルに真剣に取り組む人もふえてきている中、まだ100%は難しい。私の地域ではごみカレンダーの日は人が立っていることはないが、他の地域ではあるのでしょうか。一人一人が協力して、ごみ当番があれば知識も高まり、コミュニケーションも取れ、他地域の人のごみ捨ても減ると思う。(女性 30代)
- 一人一人が生活している中で、できることを考え実行してごみの減量とリサイクルに取り組む。幼いころから学習機会を設け習慣づける。(女性 30代)
- 今のままでもよいと思います。スーパーや回収ボックスなど本当に助かります。リサイクルしやすいです。(女性 30代)
- ごみは個人情報元と考えるので、安易にごみ袋へ名前の記入をすることは以前から疑問に思っていた。(最近、マストではなくなったが。)確かに過度の包装は不要だし、プラスチック・食品トレーや紙などを分別するのは大事。これから税金も上がり、下水道料金も非常に高い富士市。(以前、東京や横浜で暮らしたことがあるが下水道は安価。)何もかも有料では暮らしに影響が出ることは確実。(女性 30代)
- そもそも現在の社会の状況で、ごみを減らすのは難しいと思います。物があふれすぎていて、一つ一つのものを大切に使わない、使い捨ての物が多い、過剰包装の物が多いなど物を買えばごみが出る状況です。プラスチックを分別して出しても、プラスチックの種類がたくさん混在した物を出しても、リサイクルできるものは半以下で、ほとんどがごみになります。それよりもプラスチックを分別するために洗って、家庭排水がふえる原因となります。本当にごみを減らしたいのならその現状を変えてください。個人ではごみがふえて困るのは嫌というほどわかっています。ごみ処理を有料化しても、山に不法投棄をする人がふえるだけです。減らそうと試みる人は少ないと思います。スーパーの袋を有料化してマイバッグを持つ人がふえました。包装がないことが当たり前と思えばごみは減ると思います。(女性 30代)
- 一人一人が気をつけていても、ごみはなかなか減らないと思います。しかし、家族や市などが互いに教え合い、実践し続けていたら少しずつ減ると思います。リサイクルももちろん一つの方法だと思います。自分も協力していきたいです。(女性 30代)
- ある程度強引に(有料化など)進めないとごみは減らないと思う。まちづくりセンターの回収ボックスはもっとPRしたほうが良いと思う。知らない人が結構います。(女性 30代)
- ダンボールコンポスト・ぼかし・生ごみ処理機などはとても有用と思いますが、入手方法や使い方などがあまりよくわからないので、もっとPRしたほうがよいと思います。ごみ袋への記名がとても面倒です。記名するようになってから結構たつので、一定の役割は果たしたと思います。(女性 30代)
- あまり分別、分別と言われても、それが大変で普通に捨ててしまう。もう少し、分別の仕方もしっかりしてもいいと思う。大変だけど、もう1日でもごみの日が多いと少しずつ出すなどし、まとめ出しも減りそう。他の所から目立たないごみ集積所に車で捨てに来る人も多いので、それも困る。(女性 30代)

- 生ごみ処理機をもう少し安くしてほしい。地域の集積所での古紙収集量をふやす必要性は何か。
(女性 30代)
- 生ごみの堆肥化は、自宅に庭のある人や、手間と思わない人は既にしてしているので、燃えるごみとして出している人にいかに堆肥化してもらおうかと思います。ぼかしで堆肥化したものを買取りしたら、堆肥化する人がふえるかもしれません。容器については、リサイクルよりも容器の軽量化を徹底すべきだと思います。リサイクルにコストをかけるよう、過剰な包装や無駄なトレーなどに課税するべきだと思います。
(女性 30代)
- 市民一人一人が無駄にごみを出さないように、日ごろから意識しながら生活し、使える物は使える限り再利用するなど、物を大切に、ごみの減量化やリサイクルなどへの積極的な気持ちが大切だと思います。
(女性 30代)
- 私が以前住んでいた所では、粗大ごみは有料でした（全部ではないと思いますが）。コンビニエンスストアなどでシールを買って、マットレスに貼ったと記憶しています。ですから、有料にするのはいいと思います。シールをコンビニエンスストアやスーパーで買って、料金表の紙を配ってもらえたらいいと思います。最初は苦情もあるかと思いますが、他では行っているのですから仕方ありません。
(女性 30代)
- 食べ物を多くつくらない。使わない物は買わない。
(女性 30代)
- 有料化はしてほしくないです。ごみの分別をしっかりして、資源としてリサイクルで利益が出ればよいのですが、難しいですね。一人一人がごみの減量と分別の徹底をすることが基本だろうか。しかし、どうしても「これは何ごみ」とわからなくなるのも多いので、もっと細かな分別冊子とか、ごみの日アプリに載せてほしい。
(女性 30代)
- 「市が生ごみを資源物として分別回収し堆肥化」というのが理想です。ただ、実際には分別を徹底してもらう必要があると思う。私も含めて、気持ちがあればやってくれると思うし、粘り強く頑張ればできそうな気がします。私は以前、生ごみ処理に関する仕事をしていましたから、少し知識があります。
(女性 30代)
- 私の近所には、古紙を回収してくれるところがいくつかありますが、その他の紙を回収してくれるところが少ないです。月1回の古紙類の収集日のほかに、常にその他の紙を回収してくれるところが数多くあると助かります。日頃しっかりとその他の紙を分別しているとかなりの量になり、月1回の収集時には紙袋が数個になります。
(女性 40代)
- 市民にごみ減量化を呼びかける前に、市で配布しているチラシ・ポスターなどの印刷を減らすことは考えないのですか。いつも思うのですが、同じチラシなどがいろいろなところから配布されています。それこそ無駄使いですね。余ればごみになる、このごみが年間どれだけの量処分されているのでしょうか。まずそこからごみの減量化を見直すではありませんか。経費削減にもなるはず。市の中心である市役所の内部から考え直し、それから市民へ問いかけることが必要だと思います。
(女性 40代)
- 複雑化は、慣れればできると考えるが、結局いかにごまかせるかにつながると思う。もっとわかりやすく、単純なシステムを構築させるほうがいいと思う。
(女性 40代)
- 近所の農家にコンポストを置いてもらい、捨てに行きたいと思いますが、難しいです。EMぼかしをやったことがあるが、マンション暮らしだと肥料として使いこなせない。
(女性 40代)

V 自由意見

- 以前食品トレーをきれいに洗うのが面倒で、軽くすすいでプラスチックごみとして出していたので週1回の収集日にはごみ袋がパンパンになるほどでした。でもスーパーの分別ボックスに持っていくようになってから、プラスチックごみが半分に減りました。買物のついでに食品トレーを持っていくのも毎日の習慣になれば苦にならなくなりました。(女性 40代)
- 子どものころからごみの減量化とリサイクルを学んだほうがよいと思います。スーパーで販売されているものを見ると「わざわざ袋に入れなくても」と思う。シイタケがトレーに置かれラップで包まれている状況ではごみがふえます。売り手の協力も必要と思います。(女性 40代)
- 古着を月1回でも回収してくれたら、まちづくりセンターに行かなくて済むので助かるし、今より集まる気がします。(女性 40代)
- 富士市は、沼津市や三島市と比べてごみの分別が甘いと十数年前に友人に聞きました。当時に比べるとプラスチックや紙など分別は始まりましたが、まだまだ他市よりは甘いと思います。ごみ袋への記名も、初めはやっていましたが、町内のほかの人も書いていないようなので、やめました。ごみ推進員を置くのも町内の負担となり、仕事をしている人は午前中休みを取らなければならず負担になります。また、ごみを前日に出す人もまだまだたくさんいます。監視しきれないのが実状と思います。どうしたらよいのかはわかりませんが、思ったことを書いてみました。(女性 40代)
- ごみの減量化もリサイクル推進も、どちらも市民一人一人の意識だと思います。その意識をどのようにつけるかはやはりPRも必要になると思います。それと、意識がある人がそれをやりやすい環境にあるということも大事なことではないか。先日、ある人の付き添いで東京の病院へ行きました。広めの休憩室があり、そこでお弁当やおやつを取れるようになっていましたが、そこに4種類のごみ箱が設置されていて、それぞれ「キャップ」「びん・缶」「ペットボトル」「燃えるごみ」「燃えないごみ」と表示されていました。驚いたのは、30代前半くらいの若い男性が迷うことなく、きちんと分別して捨てていたことです。慣れはすごいと思って見ていましたが、これも環境だろうか。(女性 40代)
- その他の紙の分別まで手がまわらず、もえるごみと資源ごみにわけています。その他の紙の分別をしている人をみると見習わないといけないと思うこのごろです。新聞やダンボールなどは小学校などに使ってほしいと思っています。ペットボトル・びんや缶などは月1回でしっかり出していきたいと思います。有料化は反対です。不法投棄が絶対ふえると思います。(女性 40代)
- 分別を徹底すると家庭で出すごみが少量になるのは実感するが、面倒なことも多い。(女性 40代)
- 広報(回覧板)に入ってくる「ごみへらタイムズ」などをよく読むようにしているが、いつも回ってくる回覧板を見ると、それを取ることにすらしていない人が多いので、あまり読まれていないのではないか。近所のアパートに外国人が多く住んでいて、ごみの出し方がいつもひどい。わかっていないだけなのか。モラルがないのか。習慣のちがいか。いくらみんながきれいにごみ出しのルールを守っても、何人かのモラルのない人のせいで集積所がいつも汚れているのは悲しい。ごみ清掃当番も大変です。一部の外国人の人とは思いますが、うまく、伝えられる方法があるとよいと思います。転入の際に徹底して教えるいい方法はないか。(女性 40代)
- 日常的に出る生ごみなどは、水切りなどで軽く少量にできるが、洋服などはたとえ安く購入したとしても「丁寧」に「大切に」使用すれば長く使うことができる。物を大切にすることがエコにもつながっていくと思う。(女性 40代)

- 生ごみ処理機を購入して以後、燃えるごみを出すのが3週間に1回になりました(以前は週2回)。処理機自体も大変使いやすくなり、大変便利です。しかし、処理機には販売開始当時のトラブル(虫がわく、においがすごい、水が漏れるなど)のイメージがついたままの人が多いです。処理機がどのようなものか、高価であるが補助金が出ることなど、もっと周知したほうがよいと思います。(女性 40代)
- ごみ処理を有料にしたら、不法に捨てる人が出ます。お金払ってごみを捨てる人はいますか。テレビや家電でも有料な物がありますが、それだけで十分です。(女性 40代)
- 減量化についてはあまり料金負担を発生させるとかえって逆効果になり、別の問題(不法投棄など)も発生するので、かなり慎重に検討すべきだと思います。リサイクル推進については、効果をあげている古着や小物などの回収場所をふやしてほしい。(女性 40代)
- 広報紙以外でも古着の回収やプラスチックの再生をアピールしたほうがよいのでは(広報紙を見ない人へのアピール)。例えば、公共のトイレや休憩所など。(女性 40代)
- 商品のパッケージや包装をもっと簡略化したらよいと思う。(女性 40代)
- 生活していると分別しにくいものがたくさんある。アルミかプラスチックか、紙かプラスチックかと悩んだりする。また、紙の筒の底が金属であったりすると、切り離しが困難でどうしてよいか悩む。商品を買うときに、中身はほしいけれど分別しにくいから別のものにしようと思うことさえある。世の中便利になるとごみがふえ、分別作業の不便もふえると思っています。(女性 40代)
- 個人の意識が低すぎる。不法投棄など情けない話。子どもの教育以外に、大人の教育も必要になってしまった世の中をまず変えていかなくてはならない。最低、「人の迷惑にならないように」とか「法には触れないように」くらいはしっかりした日本であってほしい。(女性 40代)
- お店での梱包を簡素化して、家庭でのごみとなるものを減らす。(女性 40代)
- リサイクル業者は粗大ごみだけではなく、古紙も回収してくれればよいと思う。高齢者宅へ古紙を回収するサービスがあればよいと思う。(女性 40代)
- 分別も必要とは思いますが、あまりにも細かいものであると、わかりづらく、面倒が先にきてしまい、回収ができなくなってしまうので、必要最低限のわかりやすい分別にしてほしい。(女性 40代)
- ごみを減らすためには、ごみの分別の徹底が必要と思いますが、リサイクルできるかもしれないのに燃えるごみに入れてしまっている可能性もありますので、分別方法をもっと詳しくわかりやすくしてほしいです。(女性 40代)
- その他の紙・プラスチック製容器包装の回収が始まってから、燃えるごみとして出す量が格段に減ったのは事実ですが、それでも燃えるごみの量が他の人と比べて袋が大きかったりすると、「きちんと分別できていないように思われるかも」と気の小さい私は少々気まずく思うときがあります。ですから、主婦向けに「小さい袋でスマートに燃えるごみを出す奥さん」のような呼びかけもあると思います(ポスターやCMなどで)。詰め替え用の洗剤など、市場に数多く出回っていますが、容器製造の業者(メーカー)の立場では、仕事が減るなどの弊害がないか、といつも思います。マイバッグはかなり普及していますが、スーパーで食品などを買うのが一般的な現代、昔のように小売店で買い物をするのとは、食品ひとつひとつに包材が使われること自体、違います。やはり、CM・ポスターなどで呼びかけ、「リサイクルがカッコイイ」くらいの意識をみんなが自然にもてるようになればいいと思います。市民への説明会は、行く人は決まっていますが、そもそも行く人は意識の高い人です。アパート・マンション住まいでは、町内会の機能も薄れているので、あまり意味がないと思います。(女性 40代)

V 自由意見

- なかなかごみを減らすことは難しいと思います。私の家でも、庭に穴を掘り、生ごみを埋めたりすることもあったので、庭のある人は生ごみを埋めたりすると肥料になって、ごみが減っていいと思います。(女性 40代)
- 班のごみ置き場には、毎回指定袋に入っていない班員以外の人のごみが捨てられており、頭を悩ませています。区長に頼み、看板を設置してもらったり、常にごみ置き場を掃除したり、班員全員で努力はしていますが、捨てる人の特定もできません。指定袋に入っていないと回収してもらえず、結局班長が自腹でごみ袋を購入し、詰めかえて回収してもらっています。昨年はその分のごみ袋代だけで1,000円以上かかりました。有料化はやむを得ないと思いますが、正直者だけが損をするような方法は納得がいきません。(女性 40代)
- まちづくりセンターなどで古着を回収してもらえるようになってとても便利です。(女性 40代)
- ごみは生活に根づいているので、一人一人の意識を変えることが必要になると思います。しかし、それは難しいので、困っている人たちが解決方法を知る手段があることで、自然と変わることができるかもしれません。市で行っているスマートフォン用ごみ分別アプリや、生ごみ処理機購入費補助制度は有効と思います。(女性 40代)
- 組合のごみ集積所の横などに、生ごみのコンポストなどをつくって堆肥化する。生ごみの出し方などを組合の集会などで、きちんと説明する。できれば市の職員が出席して、細かいごみの出し方なども説明してくれるとよいと思う。(女性 40代)
- スーパーの肉などのトレーをやめて、ビニール袋にする。有料指定袋制で徴収して、役立てればいい。(女性 40代)
- 古紙・缶・ペットボトルなどはスーパーで回収してもらえるのでとても助かっています。びん類も回収してほしいと思います。(女性 40代)
- ごみの分別の説明会に参加し、ごみマイスターの話を聞くと、とてもわかりやすく、意識の向上にもつながると感じました。しかし、説明会に参加しようと思う人以外の人々の意識の向上がされないと、ごみの減量化とリサイクルは進まないということ、実際にごみ集積所で感じる人が多いです。一人でも多くの市民の意識を変えるための活動を、例えば区民体育祭や小・中学校の総会など、主婦の集まる場所で時間を取ってもらい、ごみマイスターの出張説明会などの形で行ってはどうか。(女性 40代)
- ごみの減量化とリサイクルについては個人の意識によってかなり違ってくると思います。私の夫はいまだに分別(燃えるごみとプラスチックごみ)ができていません。その都度教えていますが、身につくまでには時間がかかるようです。しかし、私でも分別に迷うことがあります。それは「プラスチック製容器包装」です。食品などで袋の中が汚れていたりするとき、どの程度なら「プラスチック」へ入れていいのか判断に迷います(スナック菓子の袋や味付け海苔の袋など)。「ごみへらしタイムズ」などで具体例を挙げ、写真を載せてもらえば助かります。「ごみ処理の有料化」には反対です。集積所に出されるごみは減るかもしれませんが、不法投棄がふえると思います。富士山が世界文化遺産に登録され、富士山のごみが問題になっていますが、富士山だけでなく身近なまちもきれいにしようという意識が重要だと思います。(女性 40代)
- 地域や会社などでもごみの減量化とリサイクル推進に取り組んでいるが、間違った分別をしている人がまだいる。どんな人にもわかりやすい表示をしたり、時には指導をする機会があれば、より推進されていくと思う。(女性 40代)

- 始まりは「購入すること」からであると思います。問6でもありましたが、「必要のないものは極力買わない、故障した製品もできるだけ修理して使用する」ことは当たり前だと思います。家電など自分で修理できないと新しいものを購入してしまうのですが、例えば安く早く修理してくれる個人の電気屋を市で紹介すれば、よい結果につながると思います。また、毎年発行のごみの分け便利帳ですが、もっときちんと仕分けして(図の部分)ほしい。何かを捨てようとするとき必ず、迷ってしまい、探さなくてはなりません。(女性 40代)
- 分別について、幼稚園のころから遊び感覚で覚えてもらい、習慣づけていく。スーパーの惣菜売り場で、バイキング方式がふえていますが、透明のパックをやめて袋のみにしてほしいと思います。(女性 40代)
- 富士市はごみの出し方が細かすぎて、混乱することがあります。細かすぎると思います。(女性 40代)
- 高齢者の世帯が多くなる中、簡単で便利なおみの出し方とリサイクル方法を考えることが必要と思う。(女性 40代)
- やる人はやるけれど、やらない人はやらない。難しい課題ですが、やめてしまってもマイナスと思うので、コツコツとやり続けていき、習慣として残っていくことを願っています。(女性 40代)
- ごみ袋を無料で支給してほしい。ごみの分け便利帳は、もっと細かい分類例を記載して毎年配布してほしい。(女性 40代)
- 細かい分け方に関して、ごみの分け便利帳に例を出してありますが、汚れた納豆のたれの袋やマークのついていないプラスチック(ペットボトルの蓋など)はどこに分別するか、など普段使用しているものの中でも分別に困るものがあります。アイロン・なべ・フライパンは埋め立てなのか。月1回でも出すのを忘れて、まとめて出すことになってしまいます。便利帳にはもう少し家庭のごみを例に挙げてほしいです。(女性 40代)
- 燃えるごみとプラスチックごみを分けていますが、結局は一緒に燃やすと言っている人がいましたが本当ですか。即席麺のアルミなべをアルミ缶と一緒にしたら、近所の人に「これは燃えるごみと捨てて」と言われました。どちらが正解ですか。もし燃えるごみが正解としたらなぜですか。以前ごみの分別について市の職員が説明に来ましたが、細かいことはもう忘れてしまいました。たまたま市の職員は回収日の朝、集積所へ行って回収の様子を見て当番の人に指導してほしい。何か発見があったら当番は区長へ報告して、区長は町内の人へ回覧板で知らせるとよいと思う。(女性 40代)
- 子どもが多いのでジュースなどのペットボトルが多くて邪魔になり困ります。中を洗ってつぶして市の指定日に出していますが、それでもすぐにたまってしまうのでペットボトルを回収する場所をふやしてほしい。私はなるべく紙パックのジュースを買うようにしています。まちづくりセンターで古い衣類を回収するのはとてもよいことで大賛成です。まだ使えそうな毛布など大きいものも出せるといいと思います。(その際はちゃんとクリーニングに出してもらおう)大変な地域で暮らす人々のために、少しでも役に立てたらいいと思いながら出しています。あと、子どもの靴なども回収するとよいかもしれません。靴を履けない子どもも多いと聞きましたので。(履けそうなものを、きれいに洗う。)(女性 40代)
- 物や資源の大切さをしっかりした知識として幼いころからの教育で身につけさせ、物を大切にすること、リサイクルを心掛ける気持ちを自然体でできる教育をしなければならないと思います。(女性 40代)

V 自由意見

- 一人一人が意識を持つことが大事と思う。そのための一つは、ごみの行く末だったりリサイクルの行く末だったり、自分たちの生活から見えなくなった後のイメージを生活者に伝えること。またそれにまつわる経費がどれくらいで、どれくらい削減に役立っているのかを伝え、役に立っているという意識を持ってもらうことで、やる気を引き出す。
(女性 40代)
- 幼いころからの教育が大切と思うので、幼稚園児でも親子勉強会などを開き、市がPRのために訪問するとよいと思います。地区のお祭りや文化祭のような場面でもPRブースがあるとよいと思います。生ごみの減量で、ダンボールコンポスト・EMぼかしなどは狭いアパートのベランダでは無理があり、生ごみ処理機もなかなか手が出せないのが現状です。古紙回収は正直、好きなときに好きな場所ですることができる回収ボックスが便利です。市として設置はできないのでしょうか。問4の選択肢にあったような対策（収集日を増加、収集日を休日に、集積所を増加、古紙量に応じて地域に報奨金）をとってもあまり魅力はありません。その他の紙の分別を進めるためには、例えば燃えるごみの中にその他の紙がどのくらいあり、どのくらいの資源が無駄になっているのかなど、わかりやすく例をあげて大人から子どもまでを対象にPRし、状況を理解してもらうとよいと思う。
(女性 40代)
- ごみの分別をあまり細かくしてしまうと理解できない人や、面倒と思う人がふえ、かえって逆効果になると思う。簡単に、時間をかけずにできる方法でやってほしい。分別することはいいことであると思うが、ごみ出しの日が週4日もあり、仕事で忙しい朝にごみ捨ては結構な負担です。ペットボトルのように、プラスチックごみはスーパーなどで回収してもらえるとごみ捨ての日が1回減り、助かります。
(女性 40代)
- まちづくりセンターに毛布などをリサイクルに持っていけるようになってよかったです。
(女性 40代)
- 物があふれているこの時代、正直ごみを減らすのは難しいと思う。個々が無駄に物を買わない、生活に見合った買い方ができればよいと思う。そのためにできることは呼びかけです。「週にごみを袋1個で済ませた家庭はお金や商品券がもらえるというのはいかがでしょうか」と小学生の息子が言っています。
(女性 40代)
- 私はごみの分別化を徹底しています。職場などで感じた分別しない人の性格は、自分のことには手をかけるけれどそれ以外は面倒がる人、無頓着な人、富士市外の人には分別をしない、ずうずうしい人など。分別することで、どういうメリットがあるのか。なぜ分別をしなければならないか。自分が分別したごみはどう使われるのか。ちゃんと分別しないことで、どのような弊害が起きているか。そういう情報を市民は知るべき。子どもが分別の仕方を覚え、家族で取り組むのもよい方法と思う。ちゃんと分別しているのに、若いというだけでごみ集積所で当番の人ににらまれたり、当番の人が「ごみの分け方、出し方」と違う自己流の考えで文句を言ってきたり、嫌なこともあったが、私は市の「ごみの分け方、出し方」に基づいてやっている所以自信がある。紙ごみは便利なので業者の集積所に出していたが、それで市の収集に影響があることをこのアンケートで知り、申し訳なく思った。
(女性 40代)
- 家電のリサイクル料金が高すぎる。不法投棄が減らないと思う。
(女性 40代)
- 燃えるごみはとにかく水分をなくして、リサイクルできる古紙をまぜないように心がけています。しっかり分けると古紙の量は結構多いので、いつも大きな紙袋を用意するのに困っています。リサイクルはしているほうと思うが、衣類をまちづくりセンターへ持って行ったことがなかったので、今後は利用したいと思います。
(女性 40代)
- 回覧板で失敗した例の写真が回ってきたとき、なるほどこうすればいいと参考になりました。でもすぐに忘れてしまいます。家庭に貼りつけ用で一枚ずつ配ったほうがよいと思いました。
(女性 40代)

- ごみの減量化＝ごみ処理費用の低減化と思っていますが、分別する習慣がつくと、何気なくできることなので、「どのようにしたらごみ処理費用が減る」というやり方を具体的に示してもらえると、やる気が出ると思います。税金で処理をしていることでもあるので。私は、どこかの県のニュースで、スイカの皮を干して捨てて、処理費用がそれまでよりかからなくなったという話に感動したことがあります。(女性 40代)
- 生活の多様化により、ごみの分別がわかりにくいことが多い(ごみ分け便利帳を確認しても不明なときもある)。もう少しわかりやすい分別方法があると思います。リサイクルを推進するために、集積所が多いほうがよい。例えばまちづくりセンターなど。家電などを持ち込める場所が多いとよいと思う。地域に2か所以上あるといいと思う。(女性 40代)
- 沼津市式はすごいと思う。(女性 40代)
- 市が指定しているごみ袋には名前を記入する箇所がありますが、私の地区の集積所を見ると名前を記入していない袋がたくさんあります。私の家はちゃんと記入してごみを出していますが、書かないで出している人に「真面目ですね」と言われて、悪気はないのでしょうか一瞬ばかりにされているように思っていました。記入が任意なのは理解していますが、せつかく名前を記入する箇所をつくったのなら、記入することを徹底させてはどうか。こういうところから、ごみの減量化につながると思います。(女性 40代)
- 私の住んでいる地区では、月1回資源ごみをボランティアと自治体で回収しています。その結果を必ず回覧板で発表し、自治会・子ども会に収入としてどれくらいあったかを報告しています。自分たちにとっての収益になれば、皆さんやる気もあがるはずです。生ごみも可能であれば堆肥化し、家庭菜園やまちの花壇に使えるよう、モデルをいくつかつくってみればよいのでは。小学校や中学校などでも子どもに見せればいいのではないかと。(女性 40代)
- 知人に、面倒だからごみはほとんどのものを燃えるごみに出しているという人がいます。確かに分別は大変ですが、少しの努力だと思います。ただ、古紙については月1回の回収のため、近所の個人の古紙回収ステーションを利用しています。市の集積場所は離れていて車で数回行かなくてはならないため、何年も市の回収には出していません。ステーションは道向かいなのでダンボールなどをその都度捨てられ大変助かっています。回収回数や場所の改善があるといいと思いました。(女性 40代)
- 最近、古紙などのリサイクル品回収場所がふえて出しやすくなってきましたが、もっとリサイクル品の種類や回収場所がふえると便利と思います。(女性 50代)
- 難しいことはわかりませんが、個人的にはごみはなるべく少なくしようと思っています。(女性 50代)
- スーパーで空き缶やペットボトルなどの回収ボックスをよく利用しています。曜日・時間などにとらわれずいつでも出せるので、非常に便利です。実家の地域(入山瀬)では燃えるごみの集積所は近いので便利ですが、分別ごみについてはかなり遠く、朝夕は車の往来も非常に多く高齢者の夫妻2人暮らしの実家にとっては、とても利用できる状態ではなく、娘である私が自分のところへ持ってきて処分しています。なんとかならないものなのでしょうか。(女性 50代)
- 生ごみを家庭で堆肥化するのはとても難しく手がかかる。市で堆肥をつくって安く売るとよいと思う。(女性 50代)

V 自由意見

- EMぼかしで生ごみの堆肥化、「だっくす食ん太くん」、よいことと思っているがそれをやり始めるきっかけがない。例えば「だっくす食ん太くん」の購入など。希望者に有料で配布する方法を取ってほしい。先日も日々多くなるペットボトル、缶またはプラスチックなど、私の家で後片づけをするのは私一人で、仕事と家事をしながら時間を取るのが大変で家族に協力を頼みました。生活が便利になった分、ペットボトル・容器などふえていくことをみんなが意識しなければならないと思います。小さなことですが「マイボトル」「マイ箸」を大切にしたい。(女性 50代)
- 古紙回収ボックスの回収場所が多いので助かります。古着の回収ボックスがあるので利用しています。捨てるのはもったいないと思っていた物がリサイクルできると、気持ちもポジティブになり、ごみも減り、よいことであると思います。以前に比べ可燃ごみがかなり減りました。(女性 50代)
- 地区に責任を持たせることは大切だが、集積所の当番などは仕事を持っている人にとって負担に感じる。他地区に出そうとしても注意されてしまい、不便を感じる。不在者投票と同じような、マナーを守っていればいつでも誰でも使える集積所があれば助かる。古い布などを出しに行ったとき、まちづくりセンターの職員が少々迷惑そうな態度で、現実はこちらなのかと思い、その後行く気がなくなり倉庫の中にしたままです。リサイクルしたくても現実はいろいろ大変ですね。理解されずにいる人がたくさんいます。(女性 50代)
- 買物に行ったとき、余分な包装は断り、プラスチックなどでおかずを買ったときはなるべくきれいに洗い、燃えるごみのほうに入れないようにしています。家族も面倒くさがるが、注意して協力するように気をつけています。(女性 50代)
- 市民が減らしたくても、企業が当たり前のようにパックに入れて売っているが、パックをリサイクルに回している人がどのくらいいるのですか。置く場所を取りわざわざスーパーに持っていかなければいけない。市民任せすぎる。(女性 50代)
- 野菜・果物・魚などの、スーパーで売っているプラスチックのトレーなどごみがたくさん家にたまって困るので、できたら違う手段がないのかと思います。新聞も毎日とっているのを読まなければとらなくていいのではと考えます。(女性 50代)
- ストレスや病気になってまでやる必要はないと思う。できることをできる範囲でやればよいと思う。(女性 50代)
- 毎日出るごみを分別する中で、食品などを包装しているトレーやプラスチックごみの多さに驚いています。ごみを減量したいと思っても生活の中で自分の家の中に入ってきてしまうごみは、当然ごみとして外に捨てていくほかないのですから。できれば、ごみが出ない方法を長い目で考えていく必要があると思います。また、リサイクル店などにも積極的に持ち込みをしていますが「値段がつかない」として返されてしまい、せめてひきとり処理だけでもと思うのですが、難しいでしょうか。また販売されているリサイクル品も今では新品の量産商品のほうが安くなったりしてなかなか売れないようです。フリーマーケットなどほしい人とあげたい人の交流がもっとあるといいと思います。(女性 50代)
- 個々の理解と協力しかない感じです。説明会などで話をすればわかってくれる人が少しずつでもふえていくと思います。(女性 50代)
- 有料化してもごみが減量するとは思いません。買物をする以上は必ず何かが残るので、結果的にそれが(容器・ラップ類など)ごみになってしまう。それを減らすためには製造販売にも工夫が必要だと思います。例えば市内のスーパーでの陳列・販売方法でトレー・ラップ類を減らして、ビニール袋に計った肉を入れて陳列販売するとか、お惣菜やお弁当の容器などは仕切りは仕方ないにしても内側の底に溝のない平らなものを使うなどすれば、洗いやすく油污れも落ちやすいので、洗剤や水道の使用も少なくなり、リサイクルの推進にもつながるのではないかと思います。(女性 50代)

- 私の近所の集積場所はモラルのない人のために汚くなっています。本当にとっても残念です。仕方なく片づけておくと、また同じように出されています。相手を確定して文句を言いたいと思っても何かされたら困るのでそれもできません。案は特にはないのですが、人間性のモラル自体が問題でそこを直さないとも何も始まらない気がします。やはり厳しく徹底しないといけないと思います。
(女性 50代)
- 一人一人がごみの減量についてもっと考えるとよいと思う。
(女性 50代)
- 徹底的に分別をすることが大事と思っている。また、使えなくなったものを再利用したり、穴の開いた靴下や小さくなったり黄ばんだりしてきた衣類、タオルなどは掃除などに使ってから捨てるようにしている。(結局ごみになるが、そのまま捨てるよりも役に立つ) 食べ物については、つくりすぎないことが大事でしょうか。ただし買い物をする店が近くにないので、休みの日に買ってストックしておくことが多い中、つい無駄になってしまうものもある。無駄なく、必要なものを必要なときに手に入れられるということもできたらいいと強く思う。
(女性 50代)
- 今住んでいる場所では古紙は表通りまで運ばなければなりません。可燃物の集積所は近くにありません。収集日をふやしても、新聞や本などは重いですね。近くにあれば、収集日をふやさなくても車を利用しない人でも出せるのではないのでしょうか。私は車を利用しますので買い物のついでなど、いつでも出せるところまで持っていけますが、近くにあれば私もそこへ出すと思います。びんや埋立てごみなど、重たいものは表通りでも車で運ぶことがあります。
(女性 50代)
- 特にその他の紙とプラスチックの分別にもう少し力を入れれば、もっとごみの減量化につながると思います。
(女性 50代)
- 食品の賞味期限などで無駄にしているものが多いと思います。個人の舌に任せればよいと思っています。
(女性 50代)
- まずは企業からごみの減量に協力してほしい。箱の中に箱、そして袋に入っているような食品などは資源の無駄だし、分別も手間がかかり、リサイクルするのにまたお金がかかる。もう少し企業も意識してくれるとありがたい。過剰包装をしない。わざわざ無駄をつくらない。リサイクルするのもエネルギーやお金を使っているのだから。
(女性 50代)
- 健康のため、河川敷をウォーキングしています。河川敷には犬の糞からテレビまでさまざまなごみが放置されています。目の前で車で乗りつけ粗大ごみを捨てていく業者や個人を見かけたこともあります。楽しく歩きたいのに、とても心が暗くなります。可燃ごみを有料化すると、放置ごみに可燃ごみまで加わる気がして心配になります。
(女性 50代)
- ごみの分別は面倒なので、ごみ処理にはコストがかかると思う。市民一人一人がしっかりと分別をしてごみを出すことやいい加減に分別しないことが必要。
(女性 50代)
- ごみ処分場の見学やプラスチック製容器のリサイクルの方法など、見学会を開いて市民に見せる機会を持つ。
(女性 50代)
- リサイクルショップをふやし、店をきれいにしてお客さんが行きやすい店にするといいと思う。捨てずに店に持っていく人、それを必要とする人がふえ、お金に変えられたならきっとみんな一つ一つのごみをごみと捉えず、お金と考えるようになる。ごみを上手に減らし、リサイクルしていける地域は発展していくと思う。
(女性 50代)
- ごみに対するモラルの問題もあると思います。ごみの出し方に対して一人一人が分別に対する理解度を上げることが先決ではないでしょうか。富士市ではかなりリサイクルができていますと思いますが、子どもには学校で学習させ、子どもからその親に対して学習させる機会を持たせるやり方はよいと思う。
(女性 50代)

V 自由意見

- 自分なりに分別はしっかりやっているつもりです。 (女性 50代)
- 3か月に1度のごみ減らしタイムズは勉強になっている。ごみデータから細かくわかりやすい。減量に関して、富士市限定のだっくす食ん太くんはすごいと感心感動した。ごみからの堆肥化、だっくす食ん太くんは富士市のシンボル。EMぼかしは生ごみを醗酵させて堆肥化、私もいつかこの2つに挑戦してみたいです。昨年11月から小型家電をリサイクルすることによって資源の有効活用ができ、これもまたごみの減量化、環境保護につながる。私も今後広報ふじをしっかりと読み、知識と情報を得たいです。そして生活の中でごみをもっと減らすのにはどうしたらいいかをもっと真剣に考えたいです。この世論調査のアンケートを記入することにより、自分自身がごみの減量化、リサイクル推進の大変さを知り、いろいろ学びました。私の明日への生活向上心も生まれました。エコノミー生活を実践しなくてははいけません。 (女性 50代)
- 生ごみだけを別に収集すればいいと思う。ごみ集積所に生ごみ用の容器などを置くのもいいと思う。 (女性 50代)
- 問8の4(ダンボールコンポスト・EMぼかし・生ごみ処理機などを利用した家庭での生ごみの減量化、堆肥化を推進する)の、生ごみの処理方法をわかりやすく説明してほしい。 (女性 50代)
- 生ごみ処理が簡単にできる方法を書いたものを家庭に配布するなどして、出す前になるべく処理できれば、ごみ集積所で猫やカラスが食いちぎって汚すことも少なくなり、においも少しはよくなるのではないかと思います。また、リサイクルの一つとして場所、方法は考えなくてははいけません、「必要な人は持って行って使ってください」というような、利益目的で持っていくのではなく、個人的に再利用して次に活用してくれる人に使ってもらおうという再利用方法がとれるとよいと思います。 (女性 50代)
- ごみの減量に関しては、なるべく余分なものを買わない、つくらないように心がける。使い捨て商品が多いが、便利さだけでなく古きよきものにももっと目を向けてほしい。燃えないごみの収集日を月1回ではなくて、組み合わせで月2回にしてほしい。他の地域では週1回というところもあり、家にたまらなくなり便利である。 (女性 50代)
- いろいろ考えてよくやってくれていると思う。ごみ集積所の掃除を地区でしっかりやってほしい。 (女性 50代)
- 家では分別をしっかりやっているほうだと思っています。生ごみ・缶・プラスチック・古紙・埋め立てにそれぞれ分けています。 (女性 50代)
- 資源ごみとして出しているプラスチックやビニール類が再生処理しきれず、燃えるごみとして処理していると聞いたことがあります。本当でしょうか。私が住んでいる松野ではごみ袋に名前を記入していますが、勤務先の辺り(平垣)では記入されていません。記入する必要があるのかないのか。 (女性 50代)
- 小売店での過剰包装(プラスチックの入れ物など)などは必要なかと思う。いろいろな事情があるかと思いますが、週1回のプラスチックの集積所を燃えるごみの日と同じ場所にしてほしいです(週1回でいいので)。つい遠いので面倒となり、一緒に燃えるごみの日に出しがちです。集積所までの距離は重要だと思います。世帯数に比べ、プラスチックの出す量が少ないと思います。 (女性 50代)

- 小学校や中学校の古紙回収が月1回くらい、土曜日か日曜日に行われていますが、時間が早すぎます。休日の人が多く、朝はゆっくりなので、時間をもう少し遅くするとよいと思います。資源ごみ（缶・埋め立てなど）を持っていく人がいます。きれいに持って行くのではなく、場所を散らかして行ってしまいます。古着は、まちづくりセンターに箱を設置するのではなく、資源ごみのように月に1回は回収日を設けてほしいです。高齢者など、遠ければ持って行くのが大変だと思います。
(女性 50代)
- 一人一人が関心を持って積極的にやらなければならない。
(女性 50代)
- お店で買物をして、まだ過剰包装が多いと思います。店側でももう少し考えると、より減量化の効果があがると思います。
(女性 50代)
- 生ごみを堆肥にしたいと思いますが、なかなか平日に市へ取りに行くことが難しい。
(女性 50代)
- 普段の燃えるごみを有料化するのは多くの問題があると思う。他の市町村では、やはりごみ袋に料金を加算して、かなり高めのごみ袋にしている所もあるが、そうなっても減量化するのは一時的であって難しいと思う。また、富士宮市ともかなりの差があるので、富士市単位ではなく、静岡県単位の統一をしないと考え方が変わらないと思う。
(女性 50代)
- プラスチックの目をふやしたら生ごみがすごく減りました。とてもよいことであると思います。皆がその気持ちでやれば、多少減るのではないのでしょうか。頑張りましょう。
(女性 50代)
- 燃えるごみの袋に名前を記入することになっているが、書いてない人がいます。だんだんと適当になっているように思えます。ごみ置き場もだらしなくて、カラスが来てごみが散らばっている所もあります。決められたことをしない人はいつも同じ人と思いますが、一人一人が自覚を持って真剣に取り組んでいかないと、有料化もやむをえないと思います。不要な衣服をまちづくりセンターに持って行きますが、とてもよい取り組みと思う。
(女性 50代)
- プラスチックのごみは重さが軽いため、出しても風が強いときに飛んでいってしまっているのが現状です。たくさんたまってからでないと、出してもごみ置き場から離れていくので、道路に散乱している。そのため、少ないときは出さないの、2週間に1回程度でよいと思う。
(女性 50代)
- 地域の方は守って出しているのに、車で通りすがりの人はポイ捨てをするので困ります。
(女性 50代)
- ドイツなどのごみ処理先進国の取り組みの中で、取り入れられるものは取り入れたい。学校での徹底したごみ分別のカリキュラムがあると聞いている。韓国ではコンビニエンスストアでもレジ袋を有料にしている。現在のコンビニエンスストアなどでの容器・パッケージのごみなど、ごみをふやす要因になっている物は何とかならないかと憂慮している。ごみの有料化がごみ減量に効果をあげるなら、それも必要と思う。
(女性 50代)
- 一人一人の意識を変えることは簡単なことのはずなのに、なかなか難しい。しかしこの時期、一人一人みんなの意識を変える絶好のときかもしれません。「いつまでもこの美しい富士山が私たちのそばにいつの日も美しいままでいてくれるためにあなたの力が必要です」とか「ごみの減量、リサイクルいつも頑張ってくれてありがとう」とか、目につく看板もいいと思います。
(女性 50代)
- 肉や魚のプラスチックのパックなど、過剰包装をなくせばもっとごみは減ると思います。
(女性 50代)

V 自由意見

- 以前は燃えるごみの中にプラスチックも入っていました。今では黄色い富士市指定のごみ袋を使っています。始めのうちは家庭で名前を記入してごみを出していましたが、現在では名前も書いていません。ごみを当日の8時半までに出すというルールがあるにもかかわらず、前日から出している人がいたり、朝、ごみを出しにいくと、網も穴があいていてカラスがあさっていたりするのも2・3回見たりしています。やはり、自分のことだけで、他人のこと、地域の人のことを思う気持ちがなければいけない思います。(女性 50代)
- ごみの減量化やリサイクルを考えている人は広報などをしっかり見るし、説明会があれば参加すると思います。ただ、無関心な人はどんなことをしても自分には関係ないと、ごみの出し方も変わらないと思います。そうした人を地域の組など、小さい単位で巻き込んで、関心を持ってもらう方法があればと思います。(女性 50代)
- 廃食用油の拠点を小学校やスーパーでなく、いつものごみ集積所で月に1回、回収の日を設けてもらいたい。(女性 50代)
- ペットボトルとプラスチックの区別がよくわからず、油のボトルも醤油のボトルも、プラスチックへ入れてしまうことが多い(高齢者は特に)。ジュースなどはペットボトルとして区別するが、油などのものはわかりにくいらしい。容器に書いてはあるが、そこまであまり見ないらしい。こんな小さなことでも、一人一人、年間を通じて区別すればかなりの量になると思う。もう少し呼びかけてみてはどうか。(女性 50代)
- ごみの減量化が必要なことは市からの配布物でよくわかっています。ただ、一応頑張っただけで分別や減量化に心がけている私が不満に思うことは、家族全員が7時30分ごろから19時ぐらいまで家を空け働いていますと、月1回のみの回収では出せない日もあります。クリーンセンターへの持ち込みも日曜日はできなかったと思います。大型だと、一人では出せずにいまだに家に置いてあります。日曜日対応があると助かります。リサイクルも回収場所をふやし、場所を明確にしてほしいです。車で走っているとこんな所にあると思うが、忘れてしまいます。ごみの有料化ですが、私の町内のごみ集積所は通りにあるため、知らない人が捨てていきます。一度テレビが捨てられていて、組費にて処理したことがあり、反対です。ダンボールコンポストも利用したいのですが、使い方の説明会が少なく、日曜日しか参加できないので行けません。(女性 50代)
- メーカー側も過剰包装をしない。一人一人が意識するようコマーシャルをする。(女性 50代)
- ごみ袋(有料)を使わなくても、透明の袋であれば使用してもよいと思います(ごみの中に透明の袋も入れて捨てるのですから、ごみ袋を買うのももったいないです)。(女性 50代)
- 一人一人がルールを守ることに尽きるとは思いますが、現状は厳しいのではないかと。地域性もあります。私の地域のごみマイスターは親切で感じのよい人なのでとてもありがたいです。(女性 50代)
- まずは自分の意識改革が必要。市のごみステーションを設置すれば他の事業所を圧迫するだろうか。考えれば考えるほど難しいです。地道に言い続けることが必要。(女性 50代)
- 衣類(制服など特に)のリサイクルはとてもよいことであると思うが、出す側のマナー(汚れや傷み)には気をつけなくてはいけないと思う。ごみは、地域外の人・高齢者や引っ越してきた人のモラルにも問題あり。(女性 50代)

- ごみの減量化について市民への説明会を開いても、関心があつて集まる人はいつも決まっています、マナーの悪い人は来ないので、どんなに分別徹底を呼びかけても減らないと思います。私が出しているごみ集積所は道路に面し店舗も周りがあるので、他の地域の人が出して行くことが多くあります。前日の夜から、さまざまなものが出され、常にごみの日は大量のごみの山となっています。当番の日は仕事の都合もつけて7時から8時まで立ちますが、その前後に決まったもの以外が出されていると、当番の人は家に持ち帰って決められた日にそれをまた出しています。本当にマナーの悪さに腹が立つときがあります。有料化も必要と思いますが、不法投棄がふえ、しっかりやっている人の負担がふえるのが目に見えているような気がします。幼いころからごみに関心を持たせるよう、学校などで学習会などを行い、子どものときから自然と身につけさせることも大切だと思います。私自身もマナーがよいとは思いませんが、決められた日に決められたものを出すことから徹底していくべきだと思います。
(女性 50代)
- リサイクル品は高いイメージがまだあるので、安くしてもっとPRしたらよいと思います。生ごみを減らしたり、無駄な買い物をしなくて済むようなレシピを家庭に配布したり、ネットで配信してほしいです。車がない人もいるので、古着の回収もしてほしい。
(女性 50代)
- 生ごみ処理機を学校給食センターやスーパー弁当事業所などの食品業者に設置する。家庭用生ごみ処理機購入に対する補助金を出す。
(女性 50代)
- ダンボールも缶も1か月に出る量が少なく、リサイクルの袋が大きすぎ、小の袋に入れてもがらあきで、缶がたまるまで何か月も家に置くことは嫌。他の家からのごみ袋を見ても、かなり袋に余裕があり、リサイクルの名のもとに無駄にごみ袋のごみをふやしている。なぜ、前のようにコンテナにしないか不思議。びんと同じでいいと思う。ダンボールは1個でも狭い家では邪魔で、置き場に困るので何か所か余裕のあるところに雨風をしのげるようなものを置けば、他のごみ出しのときに一緒に出せる。(縛らないで上に乗せていく。)プラスチックごみは紙ごみと一緒に多く、その他の紙は住所・氏名・料金など諸事情が多く、見られると思っていなくても不安は残り、個々の判断に任せるしかない。
(女性 50代)
- 市の古紙収集に関して、ここ数年古紙回収ボックスに古紙を持っていったが、市が現在の収集体制を維持したいと考えていることを知っていれば、市の集積所に出していた。
(女性 50代)
- 物があふれているこの社会にあつてごみの減量、リサイクルなどとても難しいと思いますが、取り組んでくださっていることに心から感謝します。なんでも取り決められたことに進んで従い協力していきます。
(女性 50代)
- 私はホームヘルパーをしています。訪問している高齢者(一人暮らし)の大半は分別の仕方がまだ十分理解できていないようです。その他の紙の分別は特にそうです。先の質問の選択内容にもあったように、その他の紙をまとめる袋を無料で配布する際に、再度分別の説明をされてはどうでしょうか。それで徹底されてきたならば、紙袋を有料化してもよいのでは。
(女性 50代)
- 自分としてはごみの分別をしっかり行っているつもりですが、近所で生ごみの水分をしっかり処理していない人がいます。大体どの人か見当はつきますが、班にも入らない人なので何とも言えません。
(女性 50代)
- 昨年度の資源ごみの収支を見るとプラスチックの収入は「0」でした。また、焼却時にプラスチックの一部を投入するとか、プラスチックを入れないと燃えにくいとか聞いたことがあります。プラスチックを分別して赤字になるのなら燃えるごみに入れたらいいと思います。プラスチックの袋がすぐにいっぱいになります。細かく切ってはいけませんか。衣類・新聞・飲料など、販売店でも回収を進めたらどうでしょうか。正直面倒で、分別の袋が狭い部屋にいくつもあり、邪魔です。
(女性 50代)

V 自由意見

- 生ごみ処理以外は胸を張れます。スプレー缶は買いません。化粧品も詰め替え用があればいいと思っています（某メーカーはやっていますが、有名メーカーはやっていない）。買い物は難しいです。一生懸命考えて買っても処分に困ることがあります。もっとシンプルに暮らせたらいいと思います。生ごみはどうしたら協力できるのか。今は水切りのみ。におわない生ごみ処理機ないか（学校の給食室のものはかつおぶしのおいがする）。マンションの人もできるようにするには、分別収集でもおうちから集める人が大変。堆肥化してから収集するなら、「だっくす食ん太くん」に挑戦してみます（置く場所を見つけてから）。
(女性 50代)
- 市によって分別の内容などが違うことがあるのはおかしいと思う。聞いた話では、ごみ処理場の機能の違いのためらしいのですが、税金で全国統一して、分別方法も統一するべきだと思います。
(女性 50代)
- 結局は市民の意識の問題と思う。一人一人が分別をしっかりとするという意識をもって取り組まなければ、減量化は進まないのではないかな。
(女性 50代)
- 一人一人がこれからの子どもたちの未来を考え、ごみ減量の意識を持つことが一番大事と思う。
(女性 50代)
- その他の紙に、シュレッダーにかけた紙の回収が含まれているが、私が見ている限り、他の人が出しているのを見たことがない。私はその都度袋に入れて出しているが、正直面倒。そのために入れる紙袋を用意したり、自分で包装紙でつくったり手間がかかって大変。他の人はおそらく燃えるごみに入れてしまっているのでは。シュレッダーごみは容量が増すので大変。また、月1回の収集日まで家の中で古紙類をストックしておくのが大変。場所も取るので見苦しい。外に出すのは防犯上好ましくない。放火されたりしても困る。もっと回数をふやして、家にたまらないようにしてもらいたい。
(女性 50代)
- 子どもがいる家とお年寄りの2人暮らしの家では、ごみの量が全く異なってくるのは仕方ないことだが、減量で私が気をつけているのは、例えばプラスチックなどは小さくはさみで切って捨てています。そのことによって袋に入る量もふえるし袋の数が減ります。リサイクルはなかなか行動に移すのが大変ですが、菓子の外箱などはそのまま捨てるのではなく、自分でまた別の用途で使うようにしています。
(女性 50代)
- 分別できるものは分別し、ごみの量を減らす。不要なものは買わないよう心がける。
(女性 50代)
- 古紙・ペットボトル・びん・缶についてはできるだけスーパーやコンビニエンスストアなど、買物をしたところへ出している。
(女性 50代)
- ごみの減量化のためには分別は必要だと思います。しかし、分別したびんや缶は、1か月に1度の回収では家庭の中にかさばり置き場所に困っています。ごみなので玄関や部屋の中には置けません。回収の回数をふやすか、ペットボトルのようにスーパーで回収をしてもらえると助かります。
(女性 50代)
- 一人一人がごみの決まりを守れば減量化につながる。
(女性 50代)
- 基本的には一戸あたりのごみの量によって有料化をするのは反対です。有料化すれば、人の家の庭にごみを放り込む人が一層ふえると思います。リサイクルについて、もう一度市民に理解できる方法で呼びかけをしてほしいと思います。幼稚園に通いだしたら、ごみについても教育していけば、それが実になっていくと思います。幼いころから習慣になっていくことが、ひいては大人のお手本にもなっていくのではないのでしょうか。今までのやり方を変えるのは大人になればなるほど困難になるからです。
(女性 50代)

- ごみの減量化には、毎日決められたことを徹底するよう、努力しているつもりですが、なかなか思うようにはいかず、毎日時間と手間が必要です。生ごみの堆肥化については、その堆肥を利用する場所がない人のために、市や地域で集めて、利用できる場所に提供したらよいと思います。

(女性 50代)
- 一人一人の市民が気をつけて、ごみ減量化に取り組んでいても、必ずルールを守れない人間がでてしまうと思う(集積場所へのごみ出しの曜日・時間・ごみの種類すらいい加減に出す人が必ずいる。ごみ当番も24時間いるわけではない)。ルールを守らない人にルールを守らせるのは大変なことであると思う。有料化するのであれば、ごみ袋の大きさなどでごみの量も明確になりやすいと思うので、ごみ袋の価格を多少分類するとよいのでは。紙・プラスチックの分類がしやすいよう、分別ごみ袋の種類を多くするとよいのでは。(家の周りがごみ袋だらけになりそうですが。)

(女性 50代)
- 私は花の育成が好きです。生ごみを処理し、堆肥を利用するとよい草花に育ちます。実際に目にすることや体験することで、喜びや生きがいを感じます。堆肥で育てた樹木が実をつけるなどの実験をし、市民にもっとPRするとよいと思います。

(女性 50代)
- 大人になってからごみの減量化を考えるのではなく、大人が子どもの手本となるように伝えていき、生活を独立してもごみの出し方がしっかりできるよう、日ごろの生活を大事にしたいです。ごみ出しのルールを守る大人に育てたいです。道にポイ捨てるような人になってほしくない。無駄を出すことなく買い物する習慣をつける。きれいに大事に使ってリサイクルに回す。古着の回収はとてもよいことと思います。衣類を可燃物の日に出すのはとても心苦しかったので、よかったです。自分ができることは小さくてもコツコツやっています。

(女性 50代)
- 市は工夫していろいろと市民にごみ減量化・リサイクルを呼びかけていると思う。でも一人一人の問題で、やる人はきちんと可能な限りやっているとと思うが、やらない人に何を呼びかけても難しいと思う。ごみのポイ捨てを見て思います。

(女性 50代)
- ごみの減量化については、家庭・施設・企業などへの徹底指導を定期的に行い、多くの人たちに意識させることが大切だと思います。リサイクル推進については、市がバックアップして企業などがしっかりとリサイクルできるようにしてほしい。

(女性 50代)
- プラスチック分別が始まったころ、主婦の間で汚れたプラスチックを洗って出すのは手間で、水道も余分に使わなくてはいけないなどの不満の意見が多かったと思います。慣れてしまえば日常的な作業となり、苦にもならなくなりました。これは習慣というもので、子どものころから親からのしつけとして習慣づければよい結果が表れてくると思います。学校や地域での定期的な講習(強制力のあるもの)が必要です。富士山のふもとに住む富士市民は、ごみ問題をもっと自分たちの努力(有料化やお金で解決するのではなく)で意識づけすることが大切です。富士山文化遺産登録を機会に、もっと市民に訴える努力を広報すべきです。

(女性 50代)
- ラップ類は洗って乾かして、プラスチック類に出しているが、そのようなラップ類は多いと思います。

(女性 60代)
- もっと若い人に真剣に取り組んでほしい。アパート住まいの人のごみの出し方がいい加減。ごみの分別の仕方を町内で話し合ったほうがよい。

(女性 60代)
- ごみの捨て方・リサイクルなどのことは十分理解できていると思いますが、月日がたてば、つい雑になるので、市民に対して分別徹底を呼びかけたり、ごみの減量をPRしてほしいです。

(女性 60代)

V 自由意見

- 富士山が世界遺産となる今、裾野にある富士市もその名に恥じず、きれいであるよう、私も微力ながらごみ減量に努めています。日本は農産物も輸入しているものも多く、私たちの子どもと孫に安心安全な体によいものを食べさせたいです。(女性 60代)
- 事業所（個人経営の食べ物屋、飲み屋など）のごみは集積所には出さないように指導を徹底する。(女性 60代)
- 食料品などの簡素化（トレイ容器の使用廃止）。二重包装の廃止。特にせんべいの小分け袋の使用禁止。プラスチックの容器ではなく、環境をよくするために紙の容器を使ったほうがいいと思う。(女性 60代)
- ごみ一つ出すにもマナー意識を持ってほしい。水の切り方が悪い。ごみ袋のしぼり方が甘い。車の窓を開け、投げながらいく人がいる。指定以外の日に出すのでカラスが突いてしまう。袋に名前(シール・布で配布)をつける。(女性 60代)
- ごみの日にカラスが生ごみを突いて散らかしています。上にはネットも張ってありますが、小屋のような入れ物の中に捨ててある地域もあります。(女性 60代)
- リサイクル商品(物)によっては分別に迷うことが多くあります。一覧表のようなものがあると助かります。(女性 60代)
- 日本人は食品のほか、すべての物に包装し、容器に無駄をしすぎているため、ごみもたくさん出ると思います。(女性 60代)
- ごみの減量化は、もとなる商品の過剰な包装をやめてもらうことも一案と思うので、行政が、市民と同時に業者へも働きかけてもらうことを希望する。(女性 60代)
- ごみの減量化への意識は浸透してきていると思います。(女性 60代)
- ごみに対する考え方は、個人次第で強制してどうかなることではない気がします。私に言わせれば、ごみ袋を有料にした時点でまたごみがふえたと思い、食料品を買えばプラスチックごみだらけ、品物を買えば梱包材が多く出る。今度はそのを分割し、家の中にごみの入れ物がどんどんふえていく。世の中が、スーパー・大型専門店・酒屋などが昔のように小売店でなくなったときから、変わってしまったと思います。市民に言うだけでなく、食料品だったらもっとはかり売りをするよう業者に勧める。家電商品も今は修理するより新しく買ったほうが早いということをお店がはっきり言うてくる。酒は集配もなくなった。皆が無駄なお金を競い合っているような気がしてなりません。私もごみはたくさん出します。特に動物がいるのでそのごみも出します。だから処理制度がなくなったら本当に困ります。よい考えはなかなかないのですが、できることをしていきたいと思います。(女性 60代)
- ごみ当番で集積所に年に何回か立つことがあります。ルールが守られていない場合が多いのでどうかと思ってしまいます。ごみマイスターといわれる人がいるようですが、その人の仕事は何なのか。ただ守っていない人を叱りつけているだけなのか。不思議な存在だと思います。愛を持った指導をしてほしいと思います。(女性 60代)
- 私はスーパーなどに買い物に行ったとき、トレイ容器が必要ない食品はビニール袋に移して持ち帰りますが、お店のごみとなりますのでお店側も考えてほしいと思います。なるべく生ごみを出さないため、「だっくす食ん太くん」を使いたいと思っています。(女性 60代)
- ごみの分別を徹底するため、市民一人一人の自覚をもっと持つようにすることが大事だと思います。分別によってリサイクルできる量がふえれば無駄な労力や焼却費も減るのではないかと。(女性 60代)

- 富士市に転勤となり、元吉原地区が最初の移住地となり、そこではごみ出しの日は当番制で組合の人が出し終わるまで見ていましたので、しっかり守られた出し方ができ、混入の心配もありませんでした。現在は吉永地区に住むようになり、初めのころはよかったのですが、最近は車での通りすがりに置いたりする人が目立ち、混入品が多く、清掃車の行った後には張り紙されたものが残されている。それでよいと思っている人もいると思う。もっと町内を通して話し合いをするべきと思う。それによってごみも減量すると思います。(女性 60代)
- 一人一人、良心の問題と思いますが、地域で徹底した説明会・呼びかけなどを常にやっていったらどうでしょうか。(女性 60代)
- 一人一人が自覚してごみを出さないようにする。新しいものばかりを買うのではなく古いものでも再利用する。(女性 60代)
- 物品の包装の簡素化や商品の中身だけの販売を促進してほしい。(女性 60代)
- こんなにもルールを守れない人がいるのがとても残念です。一人一人が気をつければ、ごみの減量や分別は無理です。特に山村地区はごみの山なので、そちらもきれいにしてほしいです。(女性 60代)
- 野菜のくずなどの生ごみを捨てることなく、煮込んで野菜スープに活用するなど料理に取り組む姿勢でごみを減らす。プラスチック製品の場合は、詰め替え用の商品を購入し、入れ替えることで1個の本体を何回も使用できる。(女性 60代)
- 一人一人が注意し分別するよう心がけたい。私の地域では袋に名前を記入しているので注意しながら分別していると思います。(女性 60代)
- 生ごみのみをどこかまとめて持ち込み、肥料として生まれ変われば、少しお金を出しても買う。庭で花くらいはつくれますね。自宅でというのは少し大変です。野菜の切れはしは、干してから土に入れていきます。(女性 60代)
- 生ごみ処理機や「だっくす食ん太くんNEO」などを屋敷内に置く所がない。又、処理後のごみに困る。魚などのつくりはできるだけ店で行ってもらう(ごみはできるだけ家に持ち込まない)。家の中でペット(犬)を飼っている人が多くなっています。このごみもかなり多くなっているように思います。(女性 60代)
- リサイクルを推進することでごみはかなり減っていると思う。修理してくれる所(おもちゃ・家具・電化製品)があればいいと思うときがあります。何か問題があるとすぐに新しい物を買ってしまうので、そういう意識も考えたいと思います。(女性 60代)
- 個々の意識を向上し、徹底するしかないと思う。(女性 60代)
- 野菜の切れはしなどはなるべく捨てないで使うようにしているが、プラスチック容器がほとんどのごみを占めている。プラスチック容器はビニール袋などに換えられるものはなるべく換えたほうがよいと思う。紙はなるべく燃えるごみにしないようにしているので、以前に比べ半分くらいになっている。(女性 60代)
- ごみも、年がたつにつれて変わっていくと思いますが、今のように分別をするのは年をとってから、特に男性には面倒なので、子どものころから家庭や学校で実際に分別することが大切だと思います。分別方法が異なっても、現在のように分別をやっているのとやっていないのとでは違うと思います。一人一人の考え方が大切だと思います。ごみをできるだけ出さないよう、エコをすすめることもよいと思います。(女性 60代)
- ごみの分別はよくわかっていますので、ごみの減量に工夫しています。(女性 60代)

V 自由意見

- デパート・スーパーなどで、食品も二重に包装されている過剰な包装が多い。個人の心がけも必要であるが、業者への働きかけも重要と思う。(女性 60代)
- 名前の入った郵便物などは破って燃えるごみに入れていますが、なるべく資源ごみに出すようにしています。あまり見られたくない書類などは、いつもどのように処分しようか迷っています。(女性 60代)
- 少しでも焼却によいことであると思い、果物など水分の多い物は小さく切り、天日に干して出しています。(女性 60代)
- 減量化を心がけることで減ります。(女性 60代)
- ごみの減量化について、分別そのものがしっかりしてなく、何でも一緒にしてしまうようです。ごみの分け方便利帳があっても見ない人が多いのではないのでしょうか。(女性 60代)
- ごみの減量は一人一人がもっと真剣に考えるべき問題ではないのでしょうか。(女性 60代)
- どの家庭でも堆肥化を必要としているのではないので、家庭で処理機など無理。地域で設置し、その後に農協や農家の協力を得て、肥料として売り込み、利益を出し、市民の働く場所を少しずつでもつくる。退職後の仕事のない人は多い。これを起用する必要があるのでは。地域ぐるみでごみ減量に取り組む体制をつくるには、人は何かメリットがなければ動きたくないはず。地域のことだから当然といわれても高齢化し、役目をつくられても困る。(女性 60代)
- ごみの減量化とリサイクル推進についてはいつも気を配っています。娘と「これはプラスチックだね」とか、「これは古紙になるね」など、声を掛け合って実行しています。洋服は下着、汚れた物以外は何でもリサイクルショップを利用しますし、店員さんに感謝の言葉をもらっています。(女性 60代)
- 以前、生ごみをEMぼかしで堆肥化したのですが、また再開しようと思っています。(女性 60代)
- プラスチックごみを出す日が週1回は少なすぎるのではないのでしょうか。私の家では、生ごみは資源物として、畑の土の中へ埋めるため、プラスチックのほうが一度に出す量が多くなります。古紙やダンボールを出すための作業に多くの時間がかかり、しかも雨が降っていたりすると、束ねなくてもよく、雨が降っていても大丈夫な古紙回収ボックスのほうが出しやすいと思う。(女性 60代)
- 物や食に関しての一人一人の意識改善を、常に現実問題となっているごみ減量化などと並行して、行っていくことも必要と思います。安価で粗悪なものが世の中にあふれている今、使い捨ての時代と言えます。どこに行っても目に余る行動をとる大人たちに出会わないことはありません。とても悲しい思いです。そのような大人にならないよう、子どものころから物を大切に作る心や食品を無駄なく使いきる精神を育む環境づくりができればよいです。表面的なアピール方法や有料・無料の選択などと同様に、最も大切なことを誰もが考えれば、いいまちづくりにつながっていくと思います。(女性 60代)
- 集積所の当番がありますので、数年前よりは全体的にごみが減少しているように思われます。びんや缶などは水で中を洗って出すことはたやすいのですが、洗剤を入れお湯で流して洗えば利用できる容器などが面倒です。業者の協力も必要ではないのでしょうか。また、木を切った枝などを電話して回収してもらうのは大変です。月に1~2回の回収日をつくってもらいたいし、どのくらいの物だったら燃えるごみでよいなどの分別もあれば大変助かります。このごみの件は、一人一人が良心を持って回収する人に協力すべきことであると思っています。(女性 60代)

- 「ごみのカレンダー」や「ごみの分け方便利帳」などの内容をさまざまな手段で市民の一人一人に周知徹底すること。当番制でごみ置き場の清掃をしています。ごみを出す日・分別が不十分・出す場所が違うなど、回収者に置き去りにされるごみがあります。誰が出したごみかわからず、持てない大きいもの、重いもの、中身が入っていたり汚れたりして、家に持ち帰って保管できないものもあり、ごみの出し方や分別が徹底されていないので困っています。(女性 60代)
- その他の紙袋と、プラスチック容器の袋を常備して、その都度区別しているの、ごみの量が減っています。(女性 60代)
- 自分たちがしっかり分別して出しているのに、まだまだ分別もせず平気で出している人を見るたびに、腹立たしく思う。また、違う日に違う物を出している。何日か経つと、市も仕方がなく持って行くので。ごみ袋に最初は名前を書いて出していたが、最近は名前を書かず出している。(女性 60代)
- 生ごみにぼかしを使用しているが、コバエが発生します。広報などで教えて下さい。(女性 60代)
- 私の町内では、長く住んでいる人は協力的です。問題は、アパートやマンションなどの住人が引っ越ししたり入居したりするときに出されるごみです。分別も指定日も守らず、大変迷惑しています。家主のモラルもあります。日常のごみ当番もせず大変です。アパートの家主に対して、市から注意をしてほしいです。(女性 60代)
- チラシや広告などにつられて、余分な物まで買わないように心がけている。食品も最後まで使い切るようにし、キャベツなどを芯の部分も細かくきざんだり、油でいためて食べきったりしている。(女性 60代)
- ごみの行方(処理方法)がよくわかりません。ごみ処理施設のアピールを頻繁にして、ごみに対する意識を高める。富士山の世界遺産登録を機会に、今一度市民全体がごみ問題に関心を持つよう、さまざまな方法で訴えかける。(女性 60代)
- ごみの減量化以前に、ごみ捨て・ごみ出しのマナーが必要です。道路への投げ捨てが目には余ります。清掃した途端、捨てられていく。煙草の吸殻もそうです。幼いころからのしつけが大切と痛感しています。自分の出したごみは自分で片づける、集積所へもって行く。「だっくす食ん太くん」を頻繁に配布できるといい。(女性 60代)
- 地区のごみ集積所に決められたことを守らず、でたらめに出す人がまだまだいます。区長から班長へ、くれぐれも守るように伝えてほしい。(女性 60代)
- 私の家の前には小川がありますが、雨が降ると大きなごみが音を立てて流れてきます。常に川の水の量を気にしつつ、ごみを取り清掃しています。もう少し一人一人が自分の出したごみに責任を持ち片づければ、もっと減量されると思います。川上で流すごみによって川下でどれだけの人たちが迷惑しているか考えてほしいです。ごみのない住みよい富士市を望みます。(女性 60代)
- このところ学校などの古紙回収で「その他の紙はお金にならないので集めません。ご理解を」とありますが、これは納得がいきません。なるべく学校のことには協力しなければと思ってきましたので、全部集めてほしいです。(女性 60代)
- 衣類のリサイクルステーションをもっとふやしてほしい。どこにもっていけばいいのか、どのようにして持ち込めばいいのか、いまひとつよくわからない。(女性 60代)
- 有料化・無料化、いずれも個人の意識の問題ではないでしょうか。将来、子どもたち・孫たちに問題を残さないように、今こそ考え、実行しなければと思います。(女性 60代)

V 自由意見

- カップ類の蓋部分に多くのアルミが使われていると思いますが、今は燃えるごみになっています。いずれにしてもリサイクルをしなければならないのなら、洗う部分も少ないので集めてほしい。
(女性 60代)
- 家庭菜園をやっているのですが、生ごみの堆肥を使っていません。ダンボールコンポスト・EMぼかしなどに興味はありますが、使うきっかけが見つかりません。
(女性 60代)
- 缶・ペットボトル・チラシなどがふえる傾向につき、ごみ袋の値上げを実施。その差額を費用に充てる。
(女性 60代)
- ごみの減量化は一人一人にもう少し理解させていかなければ、少しの人がわかっても仕方がないので、問8の選択肢5（地域に「ごみ減量推進員」を置き、地域ぐるみでごみ減量に取り組む体制をつくる）のように、「ごみ減量推進員」を設けて減量に取り組む体制をつくるのがベストと思います。
(女性 60代)
- 幼いころからのごみに対する意識、分別することによってどのような利益がもたらされるかなどの教育が必要と思います。幼稚園・保育園などでもゲームなどに取り入れて楽しく学んでいけたらいいと思います。
(女性 60代)
- 毎日の生活には欠かせないごみの処理には一人一人の正しい対処法しかないと思います。面倒くささで分別をせず出している人には、日ごろからごみの分別（袋分け、収集日など）を認識させることも大事だと思います。特に富士市外から越してきた人や、外国人などには窓口になる人がわかりやすく説明してやる必要があります。最初は大変でも習慣化されれば、案外楽に思えることもあります。
(女性 60代)
- 個人の意識の持ち方と思う。一人一人がもっと意識改革向上すべきである。
(女性 60代)
- 町内において分別の徹底を図り、住民の意識向上を図る。
(女性 60代)
- ごみの減量化とリサイクルについては、ごみの分別を家庭で徹底できるようにするのが一番と思いますので、ごみの分け方便利帳の利用をもっとするなど市民への呼びかけをもっとしたらと思います。
(女性 60代)
- 燃えるごみ（古紙など）は再利用できるものは極力分別して、古紙回収に出すようにしている。「だっくす食ん太くん」やEMぼかしを使用したいと思うが、買いに行くのが面倒でまだ実施していない。最近は食料品でもトレーなど、なくてもよいものが多いと思うので、流通など問題点はあると思うが考えるべきだと思います。
(女性 60代)
- 個々のモラルがない。紙・金属・プラスチックなど一緒になっている場合、分別しかねることもあるようです。（バラバラに解体するのが大変。）有料化した場合、現状よりも悪くなると思います。
(女性 60代)
- プラスチックごみですが、「すすいでからごみに出す」の範囲を明確にできたらと思います。お菓子袋など、ちょっとクリームがついたりするとつい分別がおっくうになります。
(女性 60代)
- 分別を複雑にしないでほしい。
(女性 60代)
- ごみをなるべく少なくしようと努力しているつもりですが、月によってうまくいかないときもあります。必要な物とそうでない物をよく考えてこれからも生活していきたいと思います。
(女性 60代)
- 私の家族は5人で、ごみの量は大変なものです。中学生が2人いますので、とにかく最低限、プラスチックと燃える物の分別は口うるさく言っています。厚紙とその他の紙の分別がまだ完全にできませんが、とにかく分別が大事と孫たちとも話しています。
(女性 60代)

- 現在の集積所は、広い通り沿いにあります。そのためか、地域外のポイ捨てが多く見られます。指定袋以外で雑多にまざったものや、大型家電など、当番が困ってしまいます。外国語での紙類や缶など、たくさんまざっています。3年程前に、補助金を利用して生ごみ処理機を購入しましたが、騒音と臭気がひどくて台所では使えませんでした。屋外で使用しましたが、乾燥までの時間がかかるため、電気代のコストを考え、現在は使用していません。(女性 60代)
- 日ごろから感じているのは、スーパーなどで売られている商品(食品)の中で、必要のない物まで発泡スチロール容器に入れてラップ、またはその上から袋に入れてあるなど、過剰な包装の物があり、ごみをふやす原因となっている(国で法律をつくったらどうか)。プラマークのついた容器など、私はきれいにしてお出ししているが、油のついた状態とか汚れた物をそのまま出してある家庭を見かける。汚れた物はきれいにしておすか、燃えるごみに出すなど、今一度家庭に徹底したほうがよいと思う。地域のごみ集積所にその地区以外の人から車で来て、ごみを出していくのには本当に迷惑している。その出し方が決められた方法ではなく、誤った出し方をしている。回収日でないのに置いていく。5mくらいの植木をそのまま置いていくこともある。(女性 60代)
- ごみについては、学校などで子どもたちから教育する必要がある。(女性 60代)
- ごみの分別が守られていない。(女性 60代)
- 生ごみを堆肥化する場所が富士市にはあるのだろうか。農家の人が、農作物を収穫後の田畑を利用して堆肥づくりをどのようにやっているか、とても興味があります。有効なノウハウを持っているのではないかと思います。私は手狭な庭の1mも満たない一端に穴を掘って、残飯や野菜くずをいれ、土をかぶせておくと、夏場だと1か月もしないうちに形がなくなる。ミミズがひどく大きくなっているのには閉口していますし、ダンゴムシにはもっと手を焼いています。そんな穴の近くにあるアジサイやユキノシタのほか、雑草はお化けのように大きくなって、「肥料の効果」を感じています。焼却したごみはどう処分されているのか。どこかに埋めているのでしょうか、ちょっと知りたいことでもあります。ともあれ、高齢化社会になり、年金の目減りで先行き不安になれば、買い物も控える、ごみは少なく、でも景気も冷えての悪循環です。(女性 60代)
- まだまだ包装が多いので、それを減少させること。必要以上のものを使わない。昔、びんを持って行くと代金を割り引いてくれたときがあった。ペットボトルも購入時に潰して持っていてもいいようにしたらどうか。(女性 60代)
- 私たちの町内では出し方を守っていますが、他の人が車で持ってきて、埋立ごみや燃えるごみをめちやくちやに放り投げていく。ルールを守らない人には注意をしても無駄だと思います。なんとかしてほしいです。(女性 60代)
- その他の紙について、細かく正確に分別すると、1か月に1回の収集では足りないと思います。家にたまってしまっているので、つい燃えるごみの日に一緒に出してしまうことがたびたびあります。少なくとも月2回、または週1回収集してもらえれば、きちんと分別して出します。(女性 60代)
- EMぼかしなどを何度か試みて、においなどで長続きせず、ダンボールコンポストをやり始めて3年になります。とてもよいので、みんなに勧めています。水分の多い生ごみを燃やすのに燃料のかかるのは当然と思い、他の物は干して出すようにしています。幼いころから親が生ごみを畑に入れて、リサイクルしているのを見ていたせいで、もったいない気持ちがあると思います。学校などで子どもたちに学習してもらうことはとても大事だと思います。自然に心と体に染み込み、取り組むことができるので、よいと思います。(女性 60代)
- 「だっくす食ん太くん」を使うようにする。(女性 60代)

V 自由意見

- 夜中に車で来て古紙を持って行くのを見ます。前日に出すので、夜に回って回収する業者がいる(朝4時ごろ来るときもある)。いかななものか。必要以上のものを買わないこと。詰め替えができる品を買う。また、保存容器を使用するなどしています。衣類などは安いからと買わず、ワンシーズンごとにタンスの中を見ること。リサイクルボックスにあれだけの衣類があるということは、必要以上に買っていると思う(子どもの物は別として)。とにかく、無駄な買い物の仕方を変えないとごみは減らないと思う。(女性 60代)
- 個人の意識の問題だと思います。関係者にはご苦労をかけますが、焦らず地道に取り組んでほしいと思います。(女性 60代)
- 広報紙などを読んでいない人、見ていない人、見ても認識の甘い人、忙しくてできない人など原因はいろいろあると思います。説明会やPRなどはある程度わかっている人が出席するので、解決しないのではないのでしょうか。難しいと思います。「〇〇しないとごみを回収してくれない。困った。」と思うようなことを期待したいです。(女性 60代)
- 市民の必要性を認識できるよう、呼びかけをすることが大切です。現状を知らせ、必要性をPRする。(女性 60代)
- スーパーの袋が有料になるとみんなマイバックを使用しています。ごみが有料化すると減量になると思いますが、不法投棄がふえることに注意したほうがいいです。(女性 60代)
- 公営住宅に住んでいますが、ごみの出し方が乱れており、缶・びん・燃えるごみがまとめて市指定ではないビニール袋に入っています。持っていってもらえない粗大ごみが絶えることなく集積所にたくさんあります。テレビ・大きなソファ・家具などです。収集する人がやむなく片づけると、その次の日に指定日でもないのにまたごみが捨てられています。分別なしで捨てられているごみに関しては、外国人がごみの分別がわからなくて捨てているケースが多いようです。外国には分別するというシステムがないと聞いたことがあります。テレビ・ソファなどの粗大ごみは、他の地区のモラルのない人が朝早くや深夜に、車に積んで(必ず集積するこの場所を知っている感じで)捨てていくと聞きました。見た人もいます。でも注意すると怖いので、見て見ぬふりをしているようです。ごみの例としましてテレビ・大きな食卓のテーブル・大きなソファ・1メートルくらいの金網のフェンス10枚くらい。でも集積の人が住宅のためを思って必ず持って行ってくれます。感謝しています。(女性 60代)
- 古着などの回収ボックスやまちづくりセンターが遠い。集積所をふやしてほしい。その他の紙のみの回収を行う。(女性 70歳以上)
- 市が生ごみを資源物として分別収集し堆肥化する。これにより雇用も生じ、堆肥は収入源になる。(女性 70歳以上)
- ごみを出すのに足が悪いと大変なので、もう少し楽に出せるといいと思います。(女性 70歳以上)
- これ以上できないのではないか。これでいいと思います。(女性 70歳以上)
- いくら心がけてもごみ置き場を車で通りながらポンと投げていく人がいて、その場にいた人だけが気づいても何もできません。ポイ捨てを止めるよりほかないと思います。またごみを出す日ではないのに、引越しをする人はどんなものでも置いていくのです。掃除に出て片づけに困って、私が電話して取りに行ってもらったことがあります。(女性 70歳以上)
- 古着など、いらなくなったり、子どもが大きくなり着なくなったりした衣類・袋物・靴などをまちづくりセンターに出していますが、この中には新しく着られるものもいっぱいあると思います。ほしい人に使ってもらったほうがよいと思います。(女性 70歳以上)

- ごみ減量化について思うことは、まずメディアを活用してPRし、市民への説明会などを実施して分別徹底した上で学校での学習機会を充実させ、さらに地域ぐるみでごみ減量に取り組む体制をつくり、家庭での生ごみの減量・堆肥化を推進し、市が資源物として活かして減量を進める。このように個人の意識を誰にでもわかるよう共通認識を持たせたいと思います。（女性 70歳以上）
- 毎日買物に行き無駄なものは買わないように気をつけています。（女性 70歳以上）
- 生ごみの減量・堆肥化は、マンションなどでは思うようにできないのではないのでしょうか。手間がかかりますが、市が生ごみを収集して堆肥化するのも一つの案です。過剰な包装は控えるようにしてもらいたい。週1回のプラスチック製容器包装の日を週2回の燃えるごみの日と合わせれば減量化にもなると思います。集積所が違うので、つい燃えるごみの中に資源ごみを入れてしまいがちです。（女性 70歳以上）
- 生ごみは畑やコンポストにEMぼかしを入れて堆肥に、紙は紙袋に入れていますが、月1回だと集まりすぎてしまいます。月2回がよい。プラスチックは週1回でちょうどよい。洋服類は近くに回収ボックスがあり助かります。（女性 70歳以上）
- 自分の近くのごみ出しの日の様子を見ていて感じるのは、まだまだごみの分別が徹底していないということです。毎週1回の不燃物の日にはごみ当番が出るのですが、ただ立っただけでごみ集積所でのごみの整理ができていません。町内が希望すれば町内での説明会を実施することですが、町内からの希望のあるなしにかかわらず、まちづくりセンター単位ではなく町内単位での説明会を実施して、分別の徹底を呼びかけてほしいと思います。（女性 70歳以上）
- ごみの減量化は自家焼却で減らせるとは思いますが、生ごみは別に集めて堆肥化したらよい。（女性 70歳以上）
- 資源物の分別の習慣がだいぶ身についてきたと思います。個人の責任で処理してほしいと思います。川のあたりにおいて、植木の剪定で川に流すことは許せません。（女性 70歳以上）
- 不要になった衣類ははさみで適当な大きさに切って油取りに使っています。まだもったいないと思うときは友達にあげます。（女性 70歳以上）
- たとえば庭のあまり大きくない枝物や草であっても、干してから始末をするようにしています。特に冬でしたらよく乾きますので、重量も減りますし、誰にでもできることです。しかしコバエが出るので、夏の間は無理です。（女性 70歳以上）
- 古い衣類などがありますが、高齢者のため、まちづくりセンターまで持って行くのが大変です。（女性 70歳以上）
- 努力をして富士市が褒めてもらえるようにします。（女性 70歳以上）
- ごみ分別をしっかりし、責任をもって出すことが大事だと思います。再利用できる物はなるべく使う。（女性 70歳以上）
- 三角コーナーをやめて、できるだけ水切りをして出す。紙はどの程度の小片まで紙として出せるのか。シュレッダーをかけた紙は資源ごみとして出せるか。出すについてはどの袋に入れたらよいのかなど。庭のない住居では生ごみを処理したくともできないし、働く若いお母さんたちは忙しく、分別するのは時間がかかるようで、何でも燃えるごみとして袋に入れたほうが面倒でないし、買い物に行くたびにごみになる物を買ってきたりする。ごみマイスターの知人は、一生懸命になればなるほど地域の人たちから嫌われてしまう。幼いころからの教育が必要と思ってしまう。（女性 70歳以上）
- 生活していく中で、ごみとのかかわりは避けて通れないと思います。できるだけ少なくするように心がけて、市で決めたことは守っていくようにしたいです。（女性 70歳以上）

V 自由意見

- 新聞・ダンボールなどは地区の小・中学校の古紙回収に出してPTAの役に立ててもらいます（集積所も近所で便利）。その他の紙は大きめの紙袋を用意しなければならないので、袋がないときは次月に回したりしますが、購入するにも大きな手さげ袋は結構高額なので、市で燃えるごみ袋のように安く斡旋してほしいと思います（無料にできないとしたら）。ポリ・プラスチックで汚れのひどい物は燃えるごみに入れてよいことになっていますので、少しの汚れも洗うのが面倒だから、そのまま燃えるごみに入れてしまうこともあります。洗剤を使えばリサイクルできるものでも、数が多くなると負担になると思います。難しい問題と思いますが、少しでも努力していきます。
(女性 70歳以上)
- 飽食の時代にごみの減量化をスムーズにやるのは無理だと思います。主婦は家族のために1日3回食事の仕度をし、つくるのに頭を痛め、次は捨てるごみに頭を使い、年をとると嫌になってしまうのが本音です。ごみの処理については今まで通りが快適です。
(女性 70歳以上)
- 私の認識不足で、EMぼかしのバケツの件を初めて知り、もう一度リサイクルのパンフレットを見てわかりました。時間があるときに出かけて購入し、使ってみたいと思います。プラスチックを水で洗うのはよいことと思うが、水道水や下水道の料金を考えるとおっくうになってしまいます。最近では、古い布に水を含ませてプラスチックを拭いて出しています。いいか悪いかわかりませんが、私はそうしています。何かいい方法がありましたら、広報などに記載してほしいと思います。
(女性 70歳以上)
- もったいないの精神を忘れずに、食品は無駄なく使い切る。手間を惜しまずリサイクルできるものはすること。
(女性 70歳以上)
- 箱詰め・袋詰めを減らしてバラで売る。包装はできるだけ簡単にする。
(女性 70歳以上)
- 年齢的に物のない時代を生活していますので、使い捨てるの多い今の時代は本当にもったいないと感じています。使えるものは再利用し、ごみ減量に協力します。
(女性 70歳以上)
- 年をとり重いものが持てないので、リサイクルした衣服やいらないものなどを取りに来てほしい。
(女性 70歳以上)
- 過剰包装をやめる、容器を薄くする。
(女性 70歳以上)
- 有料化してもごみの減量は無理と思いますが、今は分別収集で燃えるごみの量はだいぶ減っていると思います。私ごとですが、年金生活で、主人を亡くしたので年金が半額に減り、税金はそのままです。これ以上税金をふやさないでください。若い人は消費税が上がっても給料が上がれば生活は成り立ちますが、私たちは毎日の生活を水道料・電気料金など半分に減らして生活すべく努力をしています。ごみの量も減ります。
(女性 70歳以上)
- 「ごみ焼却場で燃えるごみと週1回出すプラスチック容器を一緒に燃やしている」との噂話が流れました。その後、肉や揚げ物の入っていた白い容器を燃えるごみに出す人が多くなったような気がします。
(女性 70歳以上)
- 小型家電のリサイクルを始めたので助かります。
(女性 70歳以上)
- 私の家は生ごみはほとんど畑で処理しています。以前と違い余分なものはあまり買わず、ごみをできるだけ減らそうと常に心がけています。
(女性 70歳以上)
- ごみの減量化とリサイクルは、ごみの分け方便利帳などで徹底してきましたが、生ごみだけは今のところ水分を切るか庭の隅に埋めるくらいです。前にはボカシで2年間取り組み、畑に深く埋め込みましたが、何かの動物が荒らして掘り出してしまい、閉口しましたので今はやっていません。説明会などよく耳にしますが、地域ぐるみで行えばお互いに協力し合えるのかなと思いました。
(女性 70歳以上)

- リサイクル推進が盛んになって分別して出す習慣が身についてきました。これからも地域ぐるみで減量に取り組んでいけば、もっとごみを少なくでき、意識も高まって一人一人が自覚できると思います。
(女性 70歳以上)
- 問5の分別をすすめる方法についてですが、分別を徹底するよう説明会やPRなどをして聞きに来ない、見に来ない人がいる限り前進はないように思う。一つの例ですが、びん・ペットボトル・缶などの出し方が説明されたチラシが配布されますが、守っていない人の多さにびっくりします。
(女性 70歳以上)
- アンケートに協力できたかわかりませんが、私たちも減量とリサイクルに協力します。
(女性 70歳以上)
- 鈴川地区は野良猫が多い。生ごみを埋めても掘り返される。何とかならないのか。
(女性 70歳以上)
- 市の指導のもと、ごみを出しています。最近では衣類などもまちづくりセンターで回収してもらるので、本当に助かっています。
(女性 70歳以上)
- 最近の生活の中で、減量化はなかなか難しいと思う。少しでも減量することには協力します。
(女性 70歳以上)
- 洗っても落ちないプラスチック容器は、はさみで切って半分以下にする。生ごみは家庭で処理機を使うなどそれぞれの物を利用して減量する。
(女性 70歳以上)
- ごみの問題は、これからますます大切なことです。一人一人が少しでも減量の努力をすることが第一歩と思います。
(女性 70歳以上)
- 「だっくす食ん太くん」でごみを処理して、買った土とまぜて植木鉢に使用している。とてもよい。
(女性 年代不明)
- ごみの減量は、一人一人が意識しないと難しいと思います。リサイクルはどこまで使えるかは、個人の問題なので、衣類から大型家電まで、料金化するものとそうでない物の表示をわかりやすく公開してほしいです。
(女性 年代不明)
- 生ごみ処理機など、市から支給してもらえたら、家庭のごみも減ると思います。個人で購入となるとなかなかできないと思います。
(性別不明 40代)
- 有料化もいずれ必要になる日がくると思います。そういう地域も知っていますが、すぐ足並みがそろうとは思えません。いい加減に考えている大人が多いのです。話を聞きに来る人、来ない人、ランダムに体力的なことも含めてリーダーになってくれそうな人を周りから育てるというか、仕立て上げるというか、本人の知らないうちに人前に出すというのがいいと思います。私たちは、自分の家のごみが人の迷惑にならないよう、決められた日に出すくらいが精一杯ですが(2人ともに1級、2級の障害者なので)、それでも洋服や小物をリサイクルして別な物につくり変える会が頻繁にあったら足を運びたいと思います。イチゴパックの小物入れとか、卵パックのアクセサリーなど。
(性別不明 50代)
- 分別してリサイクルしても、何がどのように使われていったのか(例えば何トンの古紙がいくつのトイレットペーパーになったなど)、どのように変化したのかが目に見えにくい。もう少し、成果がわかれば励みになると思う。
(性別不明 50代)
- 過剰包装の廃止、マイバッグの推進。
(性別不明 60代)

V 自由意見

- ごみ袋に名前の記入場所がありますが、書いていないのが現状のように思います。初めは書いていましたが数人しか名前がなくやめてしまいました。(名前の書いていないものは、持っていかないと思いましたが違うようでした。) 10年前になるとと思いますが、山梨県の身延山に行ったときに道路にごみ袋があり、名前が全部書かれていました。びっくりしましたが、ごみ袋使用のときに決められたことはしっかり守れるように説明があったほうがよかったですと思います。広報紙だけでは迷うことがあります。プラスチックも洗うということですが、汚れた部分もありカラスが突っついてしまう。一人一人のやるべきことをやっていけるとよいと思います。(性別不明 60代)
- 遊んでいる公務員が多いので、自分たちでやってみるのもいいでしょう。苦しさがわかる。(性別不明 60代)
- ごみの減量化に対してのごみの定義がわからない。何のごみを意味しているか。(生ごみ・プラスチック・古紙など) 市は生ごみが多くて困っているのか。それともプラスチックが多いのか。また新聞古紙が多いのか。でも、プラスチックはスーパーの入り口とか、新聞古紙も回収ボックスの増加で、市の回収量は少なくなっていないのか。有料化の考えはどこから出てきたのか。問7について。有料化賛成のみ4つの具体的な質問が出ていますが、このアンケートは、有料化を前提として求めたものではないか。(性別不明 60代)
- 日ごろから、とにかくごみ減量化に協力するという意識を持って生活しないと、ごみは減らないと思います。私たちの納めた税金で、市でも「ごみカレンダー」「ごみ分け方便利帳」など分けているので、それを活用してしっかりと決まった日に出してほしいと思います。(性別不明 70歳以上)
- ペットボトルとびんの回収が同じ日に行われているのはなぜか。ペットボトルとプラスチックとの区別のつかない人が多数いる。特に外国人。市民への説明会などに呼びかけても、説明会に行く人はきちんと分別して出している。行かない人ほど分別ができない。そこで行かない人や分別できない人をいかに説明会に参加させたり、分別させたりするかを考えてもらいたい。生活していればごみができるのは当然です。なぜ有料化しなければならないのか。他方からのがれきを燃やす余裕はないはずです。(性別不明 70歳以上)
- 剪定した枝葉は細かに切り、乾燥させて軽くし、量を少なくしています。着なくなった古着で再利用できそうな品は、まちづくりセンターのポストに入れるようにしています。(性別不明 70歳以上)
- ごみの細分化などに注意しているので思うことは特になく、従来通り個人としてはやっていくつもりである。いずれにしても、業者は別としてこれは個人の問題であるから、広報などで減量化に協力するよう、繰り返し連絡する必要がある。(性別不明 70歳以上)
- ごみの減量化とリサイクル推進については、かなり協力・理解をしていると思います。一年を通して集積所を見ますと、特に3・4月ころの転勤など、人の移動時期などには分別されず大量にごみが出るため、そのような時期には再度呼びかけるようにしたらどうかと思います。(性別不明 70歳以上)
- 市の指定日に合わせてのごみの減量。リサイクル可能な品についてもできるだけ減量に努力している。現在では有料化は考えられない。現在世界遺産の候補である富士山も、またもとのごみの山に戻るように思える。(性別不明 70歳以上)

- ごみの減量化にするには家庭用の焼却炉が必要と思います。それにはお金を出して買うのではなく、富士市から無料で配布すればごみの量が半分以下に削減するのではないかと思います。お年寄が多い昨今、思い切った行動を起こさない限り、ごみの悩みは永久に尽きないと思います。班ごとに焼却炉を置いて、3日に一度、当番の人が燃やす作業をすることなどを決めたほうがよい。
(性別不明 70歳以上)
- 今まで道路沿いにごみの集積場があったため、夜間遠くから来てごみを捨てる人が多く、町内でも一番だらしく汚いとされていた。しかし昨年、町内で立派なごみ集積所をつくってくれたため、最近では各自が自分のごみに責任を持って出すようになり、近所の人にも迷惑がからなくなった。本当によかったと思う。
(性別不明 70歳以上)
- 富士市以外の地域では有料で生ごみの収集をしています。富士市でも有料にすれば、自分でごみの減量をするようになると思うので、有料にするほうがよいと思います。(性別不明 年代不明)
- 以前テレビで見たのですが、スーパーかどこかでアルミ缶を10個入れると1ポイントつくというのをやっていました。リサイクル推進にはそういうちょっとしたメリットも必要なのではないのでしょうか。
(性別不明 年代不明)
- 「プラスチック製容器～」の制度はわかりづらいのではないかと。全国的に発行されているパンフレットなどでは鉢などに再製するとして説明している。富士市のような使われ方ではすべてプラスチックで集めてもよいと思うが、法律と大企業のために市民が振り回されている。法律の上を行くような仕組みで臨んでほしい。ごみは固形燃料化は難しいが、焼却炉に発電設備を備えればマイナスは抑えられる。水切りの教育をして日本一を目指してほしい。
(性別不明 年代不明)
- ごみを発生させる側の対応として、通販などでの過剰な広告、パンフレットを減らすこと。若い層の一人住まいの人へのPR。(家主よりの説明がない所があるため)スーパー・デパートでの食品包装の減量化。
(性別不明 年代不明)
- プラスチックと紙の両方が入っている物(例えば封筒の宛名部分)が面倒くさい。
(性別不明 年代不明)
- 紙類でも、新聞・段ボール・小さな紙(紙袋に入れる)は燃えるごみには出さない。生ごみはできるだけ堆肥化したり乾燥させたりして燃えやすくする。使えるごみ(リサイクルできるもの)は、少し手を加えるなどしてバザーなどに売出し、地域の人に安く還元していく。
(性別不明 年代不明)